



第
61
回

全日本居合道

東京武道館

令和8年10月3日(土)

午前9時25分開会

大会

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

第61回 全日本居合道大会 日程表

全日本剣道連盟

種 目	摘 要	時 間	所要時間
-----	-----	-----	------

10月2日（金）

審 判 会 議	東 京 武 道 館	14：00～15：30	1.30
監 督 会 議	〃	15：30～16：30	1.00

10月3日（土）

係 員 集 合	東 京 武 道 館	7：30	
監督・選手集合		8：10	
個人演武者受付		8：40	
役員・審判員集合		9：00	
監督・選手整列		9：15	
役員・審判員整列		9：20	
開 会 式		9：25～9：45	.20
試 合 1 回 戦	3 試 合 場（各 15 試合）	10：00～11：30	1.30
試 合 2 回 戦	3 試 合 場（各 16 試合）	11：30～13：05	1.35
試 合 3 回 戦	3 試 合 場（各 8 試合）	13：05～13：55	.50
試 合 4 回 戦	3 試 合 場（各 4 試合）	13：55～14：20	.25
個 人 演 武	五 段 ・ 六 段 ・ 七 段 の 部	14：25～15：25	.60
試合準決勝戦	3 試 合 場（各 2 試合）	15：30～15：45	.15
試合決勝戦	3 試 合 場（各 1 試合）	15：50～16：00	.10
個 人 演 武	八 段 ・ 範 士 の 部	16：05～16：25	.20
閉 会 式	表 彰	16：30～16：50	.20

* 1 試合を約 6 分で計算。決勝戦のみ10分で計算。

* 個人演武は 1 回約 7 分で計算。

大 会 次 第

開 会 式

- (1) 役員・審判・選手整列
- (2) 国歌斉唱
- (3) 優勝旗返還
- (4) 主催者挨拶
- (5) 歓迎のことば
- (6) 関係者紹介
- (7) 試合上の注意ならびに指定技発表
- (8) 監督・選手および演武者退場

試 合

1 回戦～準決勝戦

個人演武

五段・六段・錬士・教士の一部

試 合

準決勝戦～決勝戦

七段の部（第 1 試合場）

六段の部（第 2 試合場）

五段の部（第 3 試合場）

個人演武

教士の一部・範 士

閉 会 式

- (1) 役員・審判・選手整列
- (2) 成績発表ならびに表彰
- (3) 閉会挨拶
- (4) 退場

挨拶



公益財団法人 全日本剣道連盟

会長 真 砂 威

紅葉の季節、全国各地から居合道の精鋭剣士を迎え、第61回全日本居合道大会が、東京武道館において開催されるに当たり、ご挨拶申し上げます。本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

居合道は申すまでもなく、日本刀を手にして、刀の操法と、静と動、機に応じての身体運用の修錬を通して人間形成を図るものであり、剣道とは表裏一体の関係にあります。

全日本剣道連盟では、統一された形の制定の要望に応え、昭和44年に古流各流派から基本的な技を抜き出し、全日本剣道連盟居合として7本の形を制定し、その後の改訂・追加を経て現在の12本となり、剣居一体の普及の実を挙げることを目指しています。

居合道人口に目を向けますと、昨年1年間に725名の方が初段を取得しています。特に、女性や海外における愛好者は増加傾向にあります。今後も有段者が増加することを期待しています。

本大会は、各都道府県より選抜された3名の対抗試合を中心に、多数の参加者による個人演武も併せて行われ、参加者相互の親睦を深める機会ともなり、居合道の益々の発展に寄与するものであります。

ご出場の皆様には、日頃錬磨された成果を発揮され、日本の居合道の一翼を担われることを希望します。観戦されます皆様におかれましても、礼法・剣さばき・体さばき・残心・品格といったところをご覧いただき、居合道の世界をご堪能いただきたいと思います。

結びに、主管の労をとられました一般財団法人東京都剣道連盟に対し、心より感謝の意を表します。本大会が実り多いものとなり、居合道のさらなる発展につながることを祈念しご挨拶といたします。

歓迎のことば



一般財団法人 東京都剣道連盟
会 長 千 葉 胤 道

このたび「第61回全日本居合道大会 都道府県対抗優勝試合」が、ここ東京武道館において盛大に開催されますことは、主管連盟として誠に光栄であり、東京都剣道連盟を代表して心から歓迎し、祝福を申し上げます。

居合道は室町時代に起源があるとされ、「剣居一体」といわれ、剣道と居合道は表裏一体の関係であります。長い歴史と伝統に培われた日本固有の伝統文化であり、誇りと品格をもっています。勝負を抜刀の一瞬にかける日々の修練は心技体一致を目指し、人間形成を目的としています。また、居合道の良さは海外におきましても高く評価され、年々愛好者が増加しておりますことはご同慶の至りであります。

本大会に出場される選手の皆様は各都道府県において厳しい予選を勝ち抜かれた精鋭であり敬意を表します。日頃修練された稽古の成果を存分に発揮され、気迫に満ちた内容の濃い演武を期待するとともに参加者相互の交流の輪を広げ、親睦を深め、心に残る素晴らしい大会になることを切に願っています。

結びにあたり、本大会開催のために、審判の労をお取りいただく諸先生、多大なご尽力を賜りました大会役員並びに関係者の皆様に感謝申し上げますとともに居合道の益々の発展と居合道人のご活躍を祈念して歓迎のご挨拶といたします。

関係役員名簿

大会特別顧問

張 富士夫 網 代 忠 宏

大会会長

真 砂 威

大会副会長

藤 原 崇 郎 中 谷 行 道 蒨 田 実 千 葉 胤 道

大会顧問

上 田 憲 幸 福 本 修 二

氏 家 道 男	大 嶽 將 文	梯 正 治	草 間 純 市
黒 郷 源 慈	小 坂 達 明	島 野 泰 山	末 平 佑 二
豊 村 東 盛	中 田 琇 士	二 子 石 資	牧 瀬 憲 保
水 田 重 則	三 宅 一 志	宮 原 昇 治	

大会参与

岡 嶋 恒	三 上 順 一	小 松 誠	安 部 美知雄
小笠原 宏 志	井 上 雅 勝	武 藤 士 津 夫	白 石 正 範
小林 一 隆	栗 原 憲 一	岩 井 藤 啓 能	野 見 山 延
山 本 洋 一	荻 莊 誠	近 藤 繁 彦	牧 本 雄 一
片 山 外 一	二 木 むつみ	二 槁 高 弘	堤 俊 彦
中 森 博 文	中 野 正 堂	伊 吹 文 明	長 榮 周 作
吉 田 克 秀 法	世 耕 弘 成	池 田 公 友 律	宮 川 弘 健
田 中 秀 悦 和	堤 野 慶 一	佐 伯 三 達	高 木 谷 肇
三 原 柳 俊 彦	俊 野 徹 人	渡 邊 三 明	西 谷 浦 朝
青 柳 照 喜	川 上 春 生	灰 谷 信 明	大 城 朝 徳
山 下	橋 口 光 博	小 松	

大会委員長
中谷行道

大会副委員長
山崎明正

大会委員

上浦かなえ
佐藤厚子
濱崎満

軽米満世
篠原政美
古川和男

香田郡秀
谷勝彦
松田勇人

近藤亮平
内藤常男
吉里彰二

伊藤温秀
太田健一郎
川原清美
小西真里
相馬建男
松本政司
石田利也
長野良昭

秋山知子
大塚真由美
木浪恒二
佐賀内佳里
道尾英治
横奈良隆

安東夏行
小田佳子
久保木優
澤入光広
長尾由香
吉安岡成子
保洋子

大澤規男
親川光俊
小池政一
杉岡孝子
原直史
吉田泰将
岡田雅美

実行委員長
宮林高夫

実行副委員長
矢野雅之

高沢彰

木村年宏

実行委員

加古恵
深見亮太

小林晋一
倉ノ下萌香

長濱直弥

斎藤諒

居合道委員

勝瀬文孝
丸岡昭仁

糸田孝博
無津呂弘之

白井慶子

直原徳賢

大会審判団

審判長 範士 光行 良一

審判員 第1試合場（七段の部） 主任 範士 木村 幸比古

1組	{	範士 石田 純士	2組	{	範士 川村 勝幸
		範士 小田 信秋			教士 平野 政弘
		教士 小野澤 隆一			教士 丸岡 昭仁

第2試合場（六段の部） 主任 範士 原田 一廣

1組	{	範士 参川 憲一	2組	{	範士 松田 忠男
		教士 菊池 達也			教士 仲田 昌司
		教士 桑田 孝博			教士 直原 徳賢

第3試合場（五段の部） 主任 範士 品田 峯雄

1組	{	範士 伊藤 繁男	2組	{	範士 山洪 数則
		範士 國方 孝之			教士 山田 源士
		教士 勝瀬 文孝			教士 白井 慶子

第61回 全日本居合道大会の指定技

第1回戦より第4回戦まで

五段の部

六段の部

七段の部

準決勝戦および決勝戦

五段の部

六段の部

七段の部

競 技 役 員

競 技 委 員 長		畠 中 篤 美							
競 技 副 委 員 長		池 田 敏 克							
競 技 委 員		柳 徹							
総 務 係		柳 徹							
経 理 係		福 田 哲 夫							
中央口受付係	主 任	山 口 敏							
		上 田 沙 央 里	土 屋 知 子	小 澤 一 也	鈴 木 豊				
		高 田 祥 生							
南口受付係	主 任	柳 徹							
		中 谷 真 衣	柴 田 誠	大 崎 将 孝	下 田 正 信				
		田 中 伸 明	石 尾 航 輝						
接 待 係	主 任	小 野 桃 子							
		高 平 と よ 子	高 橋 直 子						
表 彰 係	主 任	土 屋 知 子							
		古 川 茂 一	上 田 沙 央 里	中 谷 真 衣					
広 報 係		柳 徹							
救 護 係		山 田 英 明							
電 算 係	主 任	斎 数 真 人							
		早 坂 明 哲	下 田 正 信	高 田 祥 生	新 倉 吉 雄				
放 送 係		榊 里 美	佐 藤 利 子						
設 営 係		畠 中 恵							
個 人 演 武	主 任	椿 二 三 夫							
		山 口 敏	畠 中 恵	三 浦 康 典					
誘 導 係	主 任	椿 二 三 夫							
		福 田 哲 夫	畠 中 恵	秋 葉 玲 実	一 宮 竜 太				
		三 浦 康 典	田 村 岳 洋	高 城 剛	古 川 茂 一				
		田 苗 俊 和							

第一試合場係	主 任	板垣	賢						
		大崎	将孝	柴田	誠	笹栗	隆司	大澤	良和
		鈴木	章弘	渡辺	裕	篠原	徹		
第二試合場係	主 任	小澤	一也						
		福見	健治	野村	心平	石尾	航輝	夏目	裕幸
		中谷	智	佐藤	平	木村	伊志		
第三試合場係	主 任	岡本	宣士						
		鈴木	豊	中村	彦佑	西浦	誠	田中	伸明
		馬淵	高典	浦尾	和弘	池田	朱里		

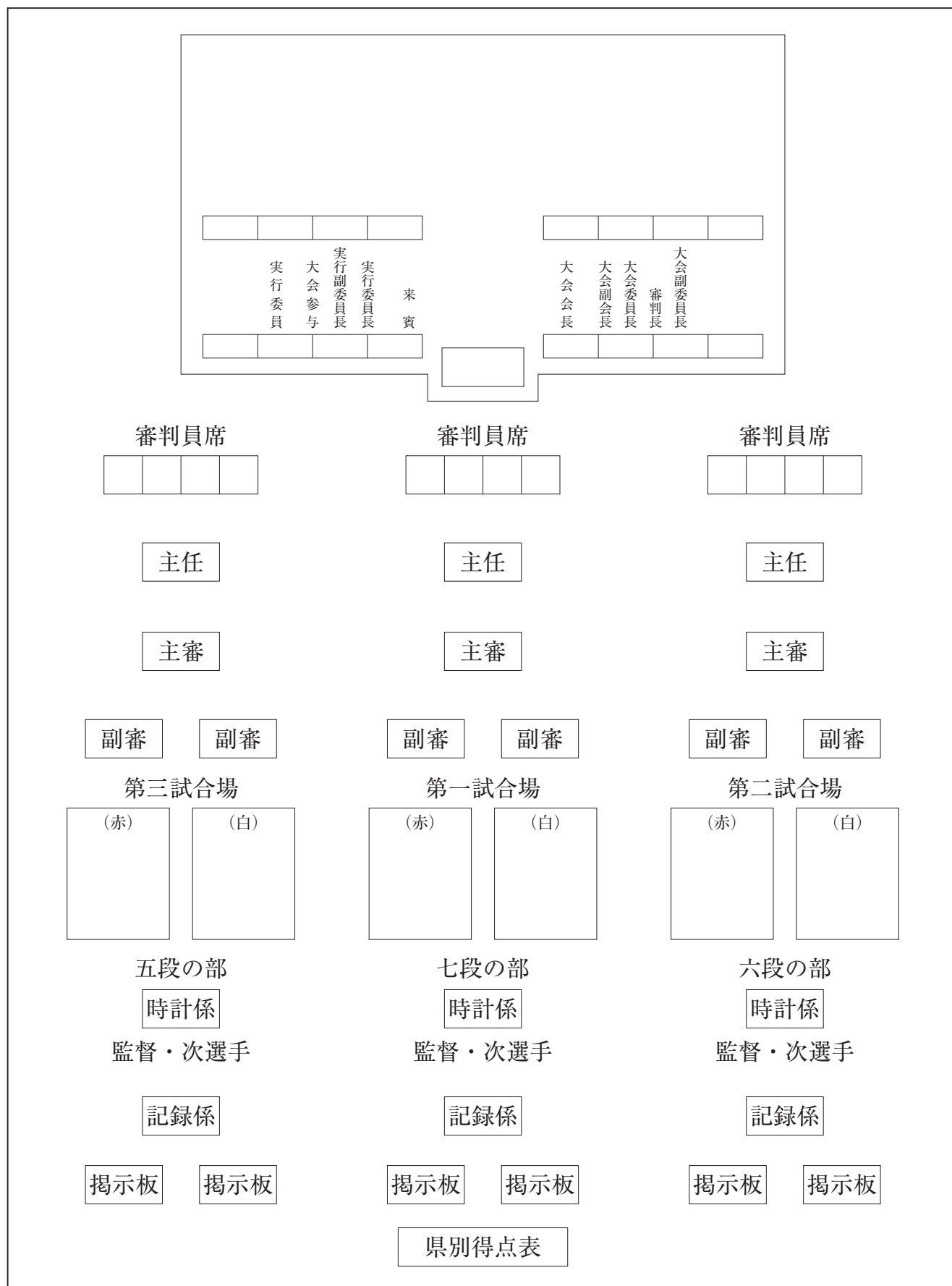
開会式整列配置図

役員・審判員席

滋 三 岐 愛 静 長 福 富 石 新 山 神 千 埼 群 枋 茨 福 宮 岩 山 秋 青 北
賀 重 阜 知 岡 野 井 山 川 潟 梨 奈 葉 玉 馬 木 城 島 城 手 形 田 森 海
川
県 道

東 沖 鹿 宮 長 熊 大 佐 福 徳 高 愛 香 島 鳥 山 広 岡 兵 和 奈 大 京
京 縄 児 崎 崎 本 分 賀 岡 島 知 媛 川 根 取 口 島 山 庫 歌 良 阪 都
島
都 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 府 府

大会会場見取図



都道府県対抗優勝試合「七段の部」組み合わせ

1	瀧	朋	未	(群	馬)				
2	ビット	マン	コ	(石	川)				
3	森	下	紀	(三	重)				
4	岡	安	誠	(岡	山)	①		③②	
5	塚	本	一	(熊	本)		①⑦		
6	岡	田	章	(岩	手)				④④
7	井	手	郎	(福	岡)	②		①⑧	
8	矢	部	城	(京	都)				③③
9	安	藤	希	(香	川)	③		①⑨	
10	大	嶋	典	(福	井)				
11	原	田	渡	(神	奈)				
12	宗	像	和	(北	海)				④④
13	戸	村	学	(埼	玉)	④		①⑩	
14	林		紀	(大	分)				③④
15	出	橋	之	(大	阪)	⑤		①⑪	
16	乗	松	志	(愛	媛)				
17	元	井	治	(富	山)				④①
18	吉	田	澄	(東	京)				
19	池	田	人	(和	歌)	⑥		①⑫	
20	崎	原	證	(沖	縄)				③⑤
21	佐	久	聡	(福	島)	⑦		①⑬	
22	福	田	介	(山	口)				
23	松	下	人	(静	岡)				④⑥
24	大	岡	満	(鳥	取)				
25	松	本	子	(宮	城)	⑧		①⑭	
26	植	木	久	(栃	木)				③⑥
27	福	島	堯	(鹿	児)	⑨		①⑮	
28	坂	本	樹	(兵	庫)				
29	甲	斐	渉	(愛	知)				④②
30	目	崎	児	(長	野)				
31	萩	原	健	(山	梨)	⑩		①⑯	
32	宮	崎	輔	(長	崎)				③⑦
33	前	田	作	(奈	良)	⑪		①⑰	
34	水	野	大	(山	形)				
35	岩	橋	貴	(高	知)				④⑤
36	戒	能	幸	(広	島)				
37	吉	田	人	(青	森)	⑫		①⑱	
38	鎌	石	翼	(滋	賀)				③⑧
39	甲	斐	介	(宮	崎)	⑬		①⑲	
40	池	沢	孝	(千	葉)				
41	志	津	幸	(岐	阜)				④③
42	齋	藤	一	(茨	城)				
43	戸	田	章	(秋	田)	⑭		①⑳	
44	内	海	弥	(德	島)				③⑨
45	神	代	明	(佐	賀)	⑮		①㉑	
46	大	西	和	(新	潟)				
47	山	口	司	(島	根)				

都道府県対抗優勝試合「六段の部」組み合わせ

[illegible]

都道府県対抗優勝試合「五段の部」組み合わせ

1	吉別	江崇	直弘	用所
2	高森	德見	秀真	橋石
3	石重	資哉	隆拓	毛畠
4	田酒	樹也	大直	口井
5	木新	也	勇正	尾田
6	菊長	氣佳	仁保	池久
7	大松	美涼	英齊	橋浦
8	伊塚	奈範	大竜	東本
9	與勝	輔太	一裕	嶺田
10	志山	真哉	雄師	村田
11	日後	基正	和加	野藤
12	村斎	美枝	宙聖	上藤
13	伊井	思也	幸將	奈関
14	トパール	子人	ダニエル	・村垣
15	松白	昇宣	明聖	吹藤
16	穴齊	地郎	大太	井田
17	藤松	隆尊	芳武	藤井
18	佐石	典也	吉智	井野
19	桑佐	基康	実元	藤野
20	中田	士甚	武芳	中野
21	河森	範圭	公靖	本口
22	茱福	喜史	友雅	永賀
23	平菊	大樹	泰	池屋
24	小山	樹勉		中
25		幹		
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				

都道府県得点表

番号	都道府県	五段の部		得点	六段の部		得点	七段の部		得点	合計	総合順位
		選手名			選手名			選手名				
1	北海道	河野芳範			三富文靖			宗像大和				
2	青森県	松村明昇			佐藤孝雄			吉田英人				
3	秋田県	村上宙思			黒澤直樹			戸田愷章				
4	山形県	石井智也			田中 絢			水野 大				
5	岩手県	菊池雅樹			福原和哉			岡田泰章				
6	宮城県	田口大樹			渡邊王 志			松本満智子				
7	福島県	大橋英梨奈			大武有子			佐久間 聡				
8	茨城県	佐藤吉典			谷川久郎			齋藤健一				
9	栃木県	佐藤元康			田波宏 視			植木智久				
10	群馬県	トパール・ダニエル			吉村典久			瀧澤朋未				
11	埼玉県	志村雄基			小山聖二			戸村 学				
12	東京都	福永靖史			滝澤貴典			吉田真澄				
13	千葉県	石毛隆資			大野直人			池沢友孝				
14	神奈川県	新田正佳			山本汐来			原田 渡				
15	山梨県	長久保 涼			村松英季			萩原 健				
16	新潟県	松浦 齊範			草間大介			大西伸和				
17	石川県	田中 甚			西村真 人			ビットマン・ハイコ				
18	富山県	酒井直也			石崎潤一			元井秀治				
19	福井県	斎藤聖也			長谷川翔平			大嶋雅典				
20	長野県	齊藤太郎			宮澤幸平			目崎浩児				
21	静岡県	伊奈幸子			山本 亮			松下武人				
22	愛知県	高橋秀徳			西川 貴都			甲斐幹渉				
23	岐阜県	平賀友大			村橋 祐輝			志津野泰幸				
24	三重県	伊東大輔			森 あゆみ			森下孝紀				
25	滋賀県	小屋 勉			岸 智幸			鎌石 翼				
26	京都府	重畠拓哉			橋本義彬			矢部裕城				
27	大阪府	勝田裕哉			土屋雅弘			出橋寛之				
28	奈良県	桑野実基			永野宏樹			前田祐作				
29	和歌山県	井関将人			山本潔美			池田祐人				
30	兵庫県	別所弘崇			中山直紀			坂本直樹				
31	岡山県	森石真見			筆保知彦			岡安 誠				
32	広島県	藤井芳隆			林 憲悟			戒能浩幸				
33	山口県	塚本竜太			藤本 絢子			福田啓介				
34	鳥取県	山中泰幹			花田 悠			大岡 満				
35	島根県	日野和美美			梶谷旭生			山口恵司				
36	香川県	穴吹大地			須藤雅明			安藤和希				
37	愛媛県	菊池仁美			安永隆幸			乗松壮志				
38	高知県	森本圭			畑山和也			岩橋正貴				
39	徳島県	山田師正			林 由美			内海直弥				
40	福岡県	松田武尊			ジェームズ・ジャック			井手烈太郎				
41	佐賀県	白垣聖宣			島野綾乃			神代昌明				
42	長崎県	中野武士			畑中健佑			宮崎大輔				
43	大分県	吉用直江			上野 涉			林 貴紀				
44	熊本県	後藤加奈枝			米村 亮			塚本真一				
45	宮崎県	菱口公喜			兒玉成俊			甲斐雄介				
46	鹿児島県	木尾勇気			野田典幸			福島三堯				
47	沖縄県	與那嶺 一真			沖野 祐子			崎原永 證				

団体の部

順位	
第一位	
第二位	
第三位	

個人の部

順位	五段の部	六段の部	七段の部
第一位	()	()	()
第二位	()	()	()

都道府県対抗優勝試合出場選手名簿

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
1	北海道	笠原 宏一	河野 芳範		五段	S40. 1.19	61	警察官
			三富 文靖	錬士	六段	S58. 9. 7	43	会社員
			宗像 大和	教士	七段	S57.10. 1	44	団体職員
2	青森県	岩本 博人	松村 明昇		五段	S55. 8.27	45	地方公務員
			佐藤 孝雄	錬士	六段	S40. 9.26	59	非常勤講師
			吉田 英人	錬士	七段	S39. 4.18	62	地方公務員
3	秋田県	田原 忠男	村上 宙思		五段	S44. 4.29	57	教師
			黒澤 直樹	錬士	六段	S40. 7. 1	61	会社員
			戸田 愷章	教士	七段	S22.11. 9	78	会社員
4	山形県	鈴木 清和	石井 智也		五段	H 4. 6. 7	34	会社員
			田中 絢	錬士	六段	S55. 1.27	46	会社員
			水野 大	教士	七段	S45. 8.12	56	教員
5	岩手県	小野 順	菊池 雅樹		五段	H 6. 7.18	32	公務員
			福原 和哉		六段	S56.12.13	45	会社員
			岡田 泰章	錬士	七段	S44.10.29	56	団体職員
6	宮城県	村上 宜央	田口 大樹		五段	H 8.10. 7	29	会社役員
			渡邊 王志	錬士	六段	S41. 9.10	59	医師
			松本 満知子	教士	七段	S36.10.25	64	主婦
7	福島県	渋川 奨	大橋 英梨奈		五段	H 4.10.29	33	会社員
			大武 有子		六段	S42. 4.18	59	自営業
			佐久間 聡	教士	七段	S53. 8.11	48	団体職員
8	茨城県	伊藤 政敏	佐藤 吉典		五段	S50.10.17	50	自営業
			谷川 久郎	錬士	六段	S45. 1.19	56	地方公務員
			齋藤 健一	教士	七段	S55. 8.23	45	会社員
9	栃木県	広瀬 美智代	佐藤 元康		五段	S46. 2.10	55	教員
			田波 宏視	錬士	六段	S37. 3. 2	64	会社員
			植木 智久	教士	七段	S56. 6.22	45	会社員
10	群馬県	小堀 康之	トパール・ダニエル		五段	S59. 2.13	42	会社員
			吉村 典久	錬士	六段	S50. 8.23	50	会社員
			瀧澤 朋未	教士	七段	S57. 3.12	44	会社員
11	埼玉県	小宮山 克巳	志村 雄基		五段	H 4.10. 6	34	会社員
			小山 聖二		六段	S60.10.22	40	会社員
			戸村 学	錬士	七段	S56. 7. 6	44	会社員
12	東京都	市川 学	福永 靖史		五段	H 7. 8.30	31	会社員
			滝澤 貴典	錬士	六段	S54. 2. 5	47	警察官
			吉田 真澄	教士	七段	S49. 9.27	52	会社員

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
13	千葉県	川瀬 毅	石 毛 隆 資		五段	H 4. 8.25	34	公務員
			大 野 直 人	錬士	六段	H 4. 2.23	34	公務員
			池 沢 友 孝	教士	七段	S54. 4.18	47	会社員
14	神奈川県	仲 田 昌 司	新 田 正 佳		五段	H 7. 5. 2	31	会社員
			山 本 汐 来		六段	H 7. 7.24	31	大学職員
			原 田 渡	教士	七段	S50. 5. 6	51	大学職員
15	山梨県	萩 原 康	長久保 涼		五段	H10. 5.28	28	大学職員
			村 松 英 季		六段	S44. 8.17	57	会社員
			萩 原 健	教士	七段	S43. 7.18	58	公務員
16	新潟県	今 井 恒 之	松 浦 齐 範		五段	H 6. 4. 1	32	会社員
			草 間 大 介	錬士	六段	H 3.11.29	34	団体職員
			大 西 伸 和	教士	七段	S57.10. 1	44	公務員
17	石川県	作 田 剛 也	田 中 甚		五段	S47. 3. 4	54	公務員
			西 村 真 人	錬士	六段	S61. 2.12	40	会社員
			ビットマン・ハイコ	教士	七段	S39.11.14	61	教員
18	富山県	布 目 大 剛	酒 井 直 也		五段	S62. 9.28	39	会社員
			石 崎 潤 一	錬士	六段	S49. 7. 4	52	会社員
			元 井 秀 治	教士	七段	S30. 5.30	71	会社役員
19	福井県	齋 藤 佳 男	斎 藤 聖 也		五段	H 4. 4.30	34	公務員
			長谷川 翔 平	錬士	六段	H 1. 1.30	37	会社員
			大 嶋 雅 典	錬士	七段	S24. 2.16	77	無職
20	長野県	宮 原 浩 義	齊 藤 太 郎		五段	H 5. 2.10	33	団体職員
			宮 澤 幸 平	錬士	六段	S52.10.31	48	弁護士
			目 崎 浩 児	錬士	七段	S58. 6.20	43	地方公務員
21	静岡県	佐 野 文 博	伊 奈 幸 子		五段	S39.10. 4	61	団体職員
			山 本 亮	錬士	六段	S51. 4.16	50	会社員
			松 下 武 人	教士	七段	S50.10.11	51	公務員
22	愛知県	瀧 順 一	高 橋 秀 徳		五段	H 5. 7. 7	33	団体職員
			西 川 貴 都		六段	H 8. 7.31	30	会社員
			甲 斐 幹 渉	教士	七段	S56.11.20	44	会社員
23	岐阜県	矢 澤 夏 女	平 賀 友 大		五段	H 6. 6.18	32	会社員
			村 橋 祐 輝		六段	H 3.11.16	34	会社員
			志津野 泰 幸	教士	七段	S45. 2.25	56	団体職員
24	三重県	久 木 孝 夫	伊 東 大 輔		五段	S58. 5. 7	43	会社員
			森 あゆみ	錬士	六段	S44.11. 8	56	主婦
			森 下 孝 紀	教士	七段	S49. 9.24	51	公務員

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
25	滋賀県	中山 貴世志	小屋 勉		五段	S36. 5. 8	65	公務員
			岸 智 幸	錬士	六段	S52.10.30	48	会社員
			鎌 石 翼	錬士	七段	S58. 7.19	43	会社員
26	京都府	西川 佳 徳	重 畠 拓 哉		五段	H 6. 7.18	32	会社員
			橋 本 義 彬	錬士	六段	H 3.12.30	34	会社員
			矢 部 裕 城	教士	七段	S50.10. 1	51	会社員
27	大阪府	雪谷 祐 和	勝 田 裕 哉		五段	H 7. 8.25	30	会社員
			土 屋 雅 弘	錬士	六段	H 1.11. 6	36	会社員
			出 橋 寛 之	教士	七段	S55. 9.22	45	会社員
28	奈良県	松向寺 通 孝	桑 野 実 基		五段	S46. 7.25	55	会社員
			永 野 宏 樹		六段	S58. 2.18	43	会社員
			前 田 祐 作	錬士	七段	S39.11.21	61	教員
29	和歌山県	小 島 義 哉	井 関 將 人		五段	S56. 4.14	45	会社員
			山 本 潔 美	錬士	六段	S54. 1.27	47	看護師
			池 田 祐 人	教士	七段	S36. 9.26	65	会社員
30	兵庫県	藤 原 孝 樹	別 所 弘 崇		五段	H 3. 9. 7	35	会社員
			中 山 直 紀	錬士	六段	S64. 1. 7	37	会社員
			坂 本 直 樹	教士	七段	S58. 2. 1	43	銀行員
31	岡山県	石 原 恵美子	森 石 真 見		五段	S45. 7.21	56	会社員
			筆 保 知 彦	錬士	六段	S63. 4. 9	38	教員
			岡 安 誠	教士	七段	S47.11.11	53	会社員
32	広島県	栞 原 富 雄	藤 井 芳 隆		五段	H 5. 3.31	33	団体職員
			林 憲 悟	錬士	六段	S56. 7. 2	45	会社員
			戒 能 浩 幸	錬士	七段	S42. 2.10	59	公務員
33	山口県	谷 岡 幸 治	塚 本 竜 太		五段	S43. 7.15	58	教員
			藤 本 絢 子	錬士	六段	S55. 8.19	46	主婦
			福 田 啓 介	教士	七段	S52. 7.10	49	公務員
34	鳥取県	高 岡 英 明	山 中 泰 幹		五段	S50. 8. 6	51	会社員
			花 田 悠	錬士	六段	S58. 8.19	43	教員
			大 岡 満	教士	七段	S30. 8.14	71	会社員
35	島根県	正 木 智	日 野 和 美		五段	S52. 5. 1	49	主婦
			梶 谷 旭 生	錬士	六段	S51.12.15	49	会社員
			山 口 恵 司	教士	七段	S54. 7. 6	47	警察職員
36	香川県	松 崎 哲 雄	穴 吹 大 地		五段	H11. 5.15	27	大学院生
			須 藤 雅 明		六段	H 2. 7.31	36	会社員
			安 藤 和 希	錬士	七段	S60. 2. 2	41	会社員

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
37	愛媛県	菊池達也	菊池仁美		五段	S62. 9. 6	39	会社員
			安永隆幸		六段	S28. 2.20	73	無職
			乗松壮志	教士	七段	S61. 7.11	40	理学療法士
38	高知県	亀井洋祐	森本圭		五段	H 7. 7.28	31	会社員
			畑山和也	錬士	六段	H 3.12. 8	34	会社員
			岩橋正貴	教士	七段	S55. 1.23	46	会社員
39	徳島県	満壽良史	山田師正		五段	S45. 3.23	56	会社員
			林由美	錬士	六段	S39. 1. 3	62	会社員
			内海直弥	教士	七段	S56. 3.12	45	会社員
40	福岡県	馬場清治	松田武尊		五段	H 4. 6.22	34	会社員
			ジェームズ・ジャック	錬士	六段	H 2. 3.17	36	地方公務員
			井手烈太郎	教士	七段	S55. 4. 8	46	公務員
41	佐賀県	平山好一	白垣聖宣		五段	S49. 5. 5	52	会社員
			島野綾乃		六段	S48.11.19	53	医療関係
			神代昌明	教士	七段	S32. 8.14	69	無職
42	長崎県	高木志伸	中野武士		五段	S49. 4.23	52	看護師
			畑中健佑	錬士	六段	S60. 4.11	41	会社員
			宮崎大輔	教士	七段	S58. 2. 8	43	会社員
43	大分県	大石賢介	吉用直江		五段	S53. 1.10	48	会社員
			上野渉	錬士	六段	H 4. 3. 7	34	公務員
			林貴紀	教士	七段	S49. 6.25	51	会社員
44	熊本県	緒方憲司	後藤加奈枝		五段	S55. 2.21	46	会社員
			米村亮	錬士	六段	S61. 1.13	40	公務員
			塚本眞一	教士	七段	S51. 5.19	50	会社員
45	宮崎県	佐藤三郎	菱口公喜		五段	S33.12. 2	67	教員
			兒玉成俊		六段	S63. 8.20	37	会社員
			甲斐雄介		七段	S57. 8.14	43	自営業
46	鹿児島県	是枝幸也	木尾勇氣		五段	H 4.11.28	34	会社員
			野田典幸	錬士	六段	S46. 9.20	55	地方公務員
			福島三堯	錬士	七段	S61.11.14	39	公務員
47	沖縄県	仲井間憲亮	與那嶺一真		五段	S40. 6.22	61	自営業
			沖野祐子		六段	S46. 7. 3	55	団体職員
			崎原永澄	錬士	七段	S25.11. 3	75	会社役員

個人演武出場者名簿

五 段

1	夢 想 神 伝 流	上 原 みちる	東 京 都
2	夢 想 神 伝 流	余 吾 慎 亮	静 岡 県
3	夢 想 神 伝 流	都 丸 琳 子	埼 玉 県
4	無 双 直 伝 英 信 流	陸 井 美 輝	神 奈 川 県
5	夢 想 神 伝 流	佐 藤 豪	埼 玉 県
6	夢 想 神 伝 流	上 林 利 史	神 奈 川 県
7	無 双 直 伝 英 信 流	土 田 秀 子	京 都 府
8	夢 想 神 伝 流	山 本 暁	東 京 都
9	無 双 直 伝 英 信 流	依 田 忠 之	大 阪 府
10	無 双 直 伝 英 信 流	溝 田 晴 矢	神 奈 川 県
11	夢 想 神 伝 流	大 内 徳 人	茨 城 県
12	夢 想 神 伝 流	小笠原 英 三	宮 城 県
13	夢 想 神 伝 流	竹 田 奈 美	埼 玉 県
14	夢 想 神 伝 流	梅 原 一 高	群 馬 県
15	無 双 直 伝 英 信 流	清 水 政 幸	静 岡 県
16	夢 想 神 伝 流	鈴 木 悠 一	茨 城 県
17	夢 想 神 伝 流	北 村 裕 子	千 葉 県
18	夢 想 神 伝 流	岩 垂 健 太	長 野 県
19	夢 想 神 伝 流	星 野 邦 拓	新 潟 県
20	夢 想 神 伝 流	若 井 希 祐 瑠	神 奈 川 県
21	夢 想 神 伝 流	高 橋 真 樹	埼 玉 県
22	夢 想 神 伝 流	岡 本 由 加 利	神 奈 川 県
23	田 宮 流	飯 塚 一 明 樹	千 葉 県
24	夢 想 神 伝 流	本 多 節 子	千 葉 県
25	夢 想 神 伝 流	石 山 裕 一	長 野 県
26	夢 想 神 伝 流	高 橋 浩 代	神 奈 川 県
27	夢 想 神 伝 流	藤 田 悠 希	栃 木 県
28	無 双 直 伝 英 信 流	米 澤 亮 介	京 都 府

29	夢 想 神 伝 流	相 馬 順 子	神 奈 川 県
30	夢 想 神 伝 流	相 馬 健 司	神 奈 川 県
31	無 双 直 伝 英 信 流	岡 鷹 亮	大 阪 府
32	夢 想 神 伝 流	橋 ゆう子	神 奈 川 県
33	夢 想 神 伝 流	篠 原 徹	東 京 都
34	夢 想 神 伝 流	谷 山 豪 祐	茨 城 県
35	夢 想 神 伝 流	井 上 義 博	神 奈 川 県

六 段

36	夢 想 神 伝 流	佐 藤 正 芳	茨 城 県
37	夢 想 神 伝 流	阿 部 英 夫	東 京 都
38	無 双 直 伝 英 信 流	東 馨 子	京 都 府
39	伯 耆 流	山 口 翔	京 都 府
40	夢 想 神 伝 流	庭 野 薫	東 京 都
41	無 双 直 伝 英 信 流	川 崎 ゆかり	大 阪 府
42	夢 想 神 伝 流	ポール・マーティン	東 京 都
43	夢 想 神 伝 流	宮 崎 いずみ	埼 玉 県
44	田 宮 流	櫻 井 清	神 奈 川 県
45	夢 想 神 伝 流	森 田 明 美	福 岡 県

錬士六段

46	無 外 流	新 垣 愛	東 京 都
47	夢 想 神 伝 流	佐 藤 逸 郎	東 京 都
48	夢 想 神 伝 流	齋 藤 幸 雄	東 京 都
49	夢 想 神 伝 流	阿 部 孔 一	茨 城 県
50	無 双 直 伝 英 信 流	藤 原 裕 也	兵 庫 県
51	夢 想 神 伝 流	田 見 龍	長 野 県
52	無 双 直 伝 英 信 流	米 澤 智 子	神 奈 川 県
53	夢 想 神 伝 流	柴 田 哲 夫	神 奈 川 県
54	夢 想 神 伝 流	岡 村 雅 弘	新 潟 県

55 夢想神伝流 鈴木 千代子 新潟県
 56 夢想神伝流 能條 文子 神奈川県
 57 夢想神伝流 服部 麻子 東京都
 58 無双直伝英信流 筒井 康太 愛知県
 59 田宮 流 後藤 知佳 神奈川県
 60 無双直伝英信流 新島 邦行 静岡県
 61 夢想神伝流 裕下 大 埼玉県
 62 夢想神伝流 佐生 裕子 神奈川県
 63 夢想神伝流 犬飼 惠梨香 宮城県
 64 夢想神伝流 齋藤 学 岩手県
 65 無 外 流 島田 憲正 東京都
 66 夢想神伝流 鈴木 健一郎 神奈川県
 67 夢想神伝流 樋泉 憲三 山梨県
 68 無双直伝英信流 渡邊 啓二郎 京都府
 69 無双直伝英信流 七五三木 喬 群馬県
 70 夢想神伝流 伊東 千秋 東京都
 71 無双直伝英信流 竹藪 直人 兵庫県
 72 夢想神伝流 柴田 龍也 神奈川県
 73 夢想神伝流 松本 健一郎 千葉県
 74 夢想神伝流 金子 雅章 東京都
 75 夢想神伝流 松永 浩 千葉県
 76 夢想神伝流 徳永 美奈子 新潟県
 77 夢想神伝流 久保 育子 福岡県
 78 夢想神伝流 佐生 誠司 神奈川県
 79 夢想神伝流 落合 祐介 神奈川県
 80 神刀 流 平田 陽介 埼玉県
 81 無双直伝英信流 志甫 昌俊 富山県
 82 夢想神伝流 山田 哲也 東京都
 83 夢想神伝流 君島 直樹 千葉県
 84 夢想神伝流 千葉 伸樹 茨城県

85 夢想神伝流 串橋 功 東京都
 86 夢想神伝流 鈴木 和洋 千葉県
 87 夢想神伝流 浦上 昌子 東京都
 88 夢想神伝流 久保寺 一浩 山梨県
 89 夢想神伝流 玉手 博子 埼玉県
 90 夢想神伝流 岡元 義人 埼玉県
 91 神刀 流 平田 智恵子 埼玉県
 92 夢想神伝流 掛水 史朗 神奈川県
 93 夢想神伝流 堀江 勝大 東京都
 94 夢想神伝流 天谷 仁思 千葉県
 95 夢想神伝流 塩谷 紀子 富山県
 96 夢想神伝流 小野田 道子 新潟県
 97 夢想神伝流 砂川 伸一 栃木県
 98 夢想神伝流 小野 祝子 宮崎県
 99 夢想神伝流 佐藤 博 長野県
 100 田宮 流 高柳 陽一 石川県
 101 無双直伝英信流 白坂 英永 大阪府
 102 夢想神伝流 平松 恭子 静岡県
 103 無双直伝英信流 妹尾 義明 岡山県
 104 夢想神伝流 雨宮 優子 神奈川県
 105 伯耆 流 松田 那由太 京都府
 106 夢想神伝流 柰中 撰 東京都
 107 夢想神伝流 守屋 晋 神奈川県
 108 夢想神伝流 古屋 大樹 埼玉県
 109 夢想神伝流 岩田 卓巳 埼玉県
 110 夢想神伝流 木村 圭祐 東京都
 111 夢想神伝流 酒井 裕子 千葉県
 112 夢想神伝流 五十嵐 美知子 千葉県
 113 夢想神伝流 大倉 慶人 秋田県
 114 無双直伝英信流 今川 英幸 奈良県

115 夢想神伝流 諏訪 栄 茨城県

錬士七段

116 夢想神伝流 磯目 一路 茨城県

117 夢想神伝流 中村 吉伸 東京都

118 無双直伝英信流 葛野 陸男 東京都

119 夢想神伝流 阿部 好弘 埼玉県

120 夢想神伝流 秋山 桂一 茨城県

121 無 外 流 石田 文夫 東京都

122 夢想神伝流 松本 翔太郎 埼玉県

123 夢想神伝流 黒瀧 真之 東京都

124 田 宮 流 渡瀬 研一 神奈川県

125 夢想神伝流 福島 孝文 東京都

126 夢想神伝流 安生 和之 東京都

127 夢想神伝流 島津 加奈子 広島県

128 夢想神伝流 太田 修司 東京都

129 夢想神伝流 松永 あき子 静岡県

130 無双直伝英信流 伊井 みどり 高知県

131 夢想神伝流 正木 智 島根県

132 田 宮 流 早川 浩二 神奈川県

133 無双直伝英信流 高橋 智浩 京都府

134 夢想神伝流 石塚 政弘 茨城県

135 夢想神伝流 山田 美奈子 静岡県

136 伯 耆 流 幸野 恵子 熊本県

137 夢想神伝流 江川 浩士 茨城県

138 夢想神伝流 小川 武司 東京都

139 無 外 流 中園 陽子 東京都

140 夢想神伝流 酒井 幹夫 東京都

141 夢想神伝流 卜部 和夫 千葉県

142 夢想神伝流 鶴田 正樹 山梨県

143 無双直伝英信流 南 耕平 京都府

144 無双直伝英信流 浅野 匡弘 愛知県

145 夢想神伝流 北原 栄子 長野県

146 夢想神伝流 森本 敬三 栃木県

147 無双直伝英信流 松原 英樹 高知県

148 夢想神伝流 石田 重信 神奈川県

149 夢想神伝流 阪井 昭信 東京都

150 夢想神伝流 高橋 雅仁 埼玉県

151 夢想神伝流 大竹 譲 埼玉県

教士七段

152 夢想神伝流 市村 國子 茨城県

153 夢想神伝流 田原 忠男 秋田県

154 無双直伝英信流 近藤 光明 愛知県

155 伯 耆 流 山本 健之 鹿児島県

156 夢想神伝流 村井 重之 東京都

157 水 鷗 流 池田 育生 静岡県

158 夢想神伝流 竹田 孝一 宮城県

159 伯 耆 流 松浦 真典 三重県

160 無双直伝英信流 満壽 良史 徳島県

161 田 宮 流 河合 聖 神奈川県

162 夢想神伝流 山中 幹雄 千葉県

163 夢想神伝流 越湖 正道 東京都

164 夢想神伝流 彦田 きよ子 東京都

165 夢想神伝流 石塚 裕子 神奈川県

166 伯 耆 流 藤原 貴之 京都府

167 夢想神伝流 田中 功一 長野県

168 無双直伝英信流 稲荷 有子 神奈川県

169 無双直伝英信流 白井 昌広 大阪府

170 夢想神伝流 斉木 章 千葉県

171	夢 想 神 伝 流	瀬戸山 浩 一	神奈川県
172	無双直伝英信流	川 俣 光 雄	群馬県
173	夢 想 神 伝 流	須 田 将 司	東京都
174	無双直伝英信流	渡 辺 直	岐阜県
175	夢 想 神 伝 流	篠 田 知 也	長野県
176	無双直伝英信流	中 野 陵 真	神奈川県
177	無双直伝英信流	松 井 元	熊本県
178	夢 想 神 伝 流	綾 部 明 一	神奈川県
179	夢 想 神 伝 流	清 水 浩 二	東京都
180	無双直伝英信流	隠 岐 充 啓	兵庫県
181	夢 想 神 伝 流	早 瀬 由美子	茨城県
182	無双直伝英信流	切 田 望	岩手県
183	夢 想 神 伝 流	相 馬 良 一	栃木県
184	夢 想 神 伝 流	古 田 規 子	新潟県
185	夢 想 神 伝 流	目 黒 康 幸	新潟県
186	夢 想 神 伝 流	大 吉 和 之	神奈川県
187	夢 想 神 伝 流	川 口 聡	新潟県
188	夢 想 神 伝 流	深 井 宏	東京都
189	夢 想 神 伝 流	日 下 りつ子	東京都
190	夢 想 神 伝 流	山 田 耕	東京都
191	夢 想 神 伝 流	大 森 健一郎	埼玉県
192	夢 想 神 伝 流	永 田 晃 一	広島県
193	夢 想 神 伝 流	廣 房 憲 治	福岡県
194	夢 想 神 伝 流	石 坂 勲	東京都
195	夢 想 神 伝 流	北 原 靖 久	長野県
196	無双直伝英信流	西 内 芳 幸	福島県
197	夢 想 神 伝 流	畠 信 代	神奈川県
198	無双直伝英信流	中 島 晋 吾	大阪府
199	夢 想 神 伝 流	大 西 恵	新潟県
200	夢 想 神 伝 流	丹 澤 孝 之	山梨県

201	夢 想 神 伝 流	高根沢 敏 江	栃木県
202	無双直伝英信流	松 本 省 志	千葉県
203	夢 想 神 伝 流	大 石 賢 介	大分県
204	夢 想 神 伝 流	大 津 明 弘	神奈川県
205	夢 想 神 伝 流	高 野 貴美子	山梨県
206	無双直伝英信流	塩 見 俊 夫	福島県
207	夢 想 神 伝 流	羽 田 順 一	東京都
208	夢 想 神 伝 流	久 住 悟	栃木県
209	無双直伝英信流	横 井 俊 高	香川県
210	田 宮 流	小 島 義 哉	和歌山県
211	夢 想 神 伝 流	須 田 美佐江	石川県
212	夢 想 神 伝 流	片 野 修	福島県
213	夢 想 神 伝 流	来 栖 利 枝	茨城県
214	夢 想 神 伝 流	鳥 越 啓 隆	茨城県
215	夢 想 神 伝 流	津 田 勝	山梨県
216	夢 想 神 伝 流	平 岡 裕 樹	神奈川県
217	夢 想 神 伝 流	鈴 木 順 子	東京都
218	夢 想 神 伝 流	田 口 陽 二	埼玉県
219	夢 想 神 伝 流	橋 本 久 子	東京都
220	夢 想 神 伝 流	友 国 敬 三	東京都
221	夢 想 神 伝 流	半 谷 一 芳	千葉県
222	夢 想 神 伝 流	須 永 昌 宏	神奈川県
223	夢 想 神 伝 流	佐 藤 将 傑	宮城県
224	無 外 流	黒 木 教 夫	大阪府
225	夢 想 神 伝 流	多 田 羊 一	神奈川県
226	夢 想 神 伝 流	津 村 久 美	福岡県
227	夢 想 神 伝 流	岩井田 朱 美	東京都
228	無双直伝英信流	盆子原 稔 博	兵庫県
229	無双直伝英信流	六 車 和 頼	香川県
230	無双直伝英信流	植 田 あつ子	大阪府

231 夢想神伝流 古本庸介 東京都
 232 夢想神伝流 鈴木一広 静岡県
 233 夢想神伝流 海東英和 滋賀県
 234 無双直伝英信流 尾原文子 高知県
 235 夢想神伝流 須永良子 神奈川県
 236 夢想神伝流 泉水佑晃 神奈川県
 237 無双直伝英信流 岸本卓 京都府
 238 夢想神伝流 広瀬泰三 栃木県
 239 夢想神伝流 飯田稔 東京都
 240 夢想神伝流 佐野静枝 千葉県
 241 夢想神伝流 平子清 千葉県
 242 夢想神伝流 小川忠彦 山梨県
 243 無双直伝英信流 綿谷尚久 大阪府
 244 夢想神伝流 鬼久保信夫 東京都
 245 無双直伝英信流 太田富美江 愛知県
 246 無双直伝英信流 作田剛也 石川県
 247 無双直伝英信流 西村卓男 高知県
 248 夢想神伝流 渡辺千代子 栃木県
 249 夢想神伝流 橋本政美 東京都
 250 夢想神伝流 三浦加容子 岩手県
 251 夢想神伝流 土佐隆幸 栃木県
 252 夢想神伝流 若林正美 神奈川県
 253 夢想神伝流 富士川裕司 神奈川県
 254 夢想神伝流 額賀正次 東京都
 255 無双直伝英信流 垣樋昭夫 大阪府
 256 夢想神伝流 金子和臣 埼玉県
 257 神道無念流 和泉修二 福岡県
 258 夢想神伝流 山口明生 山梨県
 259 無双直伝英信流 森田栄津 三重県
 260 無双直伝英信流 石原恵美子 岡山県

261 夢想神伝流 三浦由紀夫 岩手県
 262 夢想神伝流 滝上三喜子 東京都
 263 夢想神伝流 柏原啓壮 広島県
 264 夢想神伝流 渡辺尚久 新潟県
 265 夢想神伝流 平舘勝紘 東京都
 266 無外流 大野吉紀 東京都
 267 夢想神伝流 黒田真人 兵庫県
 268 夢想神伝流 小玉淑子 東京都
 269 夢想神伝流 関根康幸 東京都
 270 夢想神伝流 長谷川浩一 神奈川県
 271 夢想神伝流 山口隆一 埼玉県
 272 夢想神伝流 鴨志田修 埼玉県
 273 夢想神傳重信流 榊谷加代子 和歌山県
 274 夢想神伝流 高木得二 東京都
 275 夢想神伝流 高橋仁 千葉県
 276 夢想神伝流 水澤紘之 神奈川県
 277 夢想神傳重信流 篠原武司 茨城県
 278 伯耆流 有若茂 東京都
 279 無外流 喜田忠男 富山県
 280 無双直伝英信流 井上秀実 滋賀県
 281 夢想神伝流 吉澤菊夫 東京都
 282 無双直伝英信流 中島苑子 愛知県
 283 夢想神伝流 井手綏子 広島県
 284 田宮流 小野信義 神奈川県
 285 無外流 長澤秀明 大阪府

教士八段

286 夢想神伝流 西田忠正 鹿児島県
 287 無双直伝英信流 齊藤宏晶 香川県
 288 無双直伝英信流 松崎哲雄 香川県

289	夢 想 神 伝 流	柳 田 ち か	東 京 都
290	夢 想 神 伝 流	矢 澤 夏 女	岐 阜 県
291	夢 想 神 伝 流	島 村 信 之	茨 城 県
292	無 双 直 伝 英 信 流	西 川 佳 徳	京 都 府
293	夢 想 神 伝 流	石 井 貴 和	茨 城 県
294	無 双 直 伝 英 信 流	浅 岡 恵 美	富 山 県
295	夢 想 神 伝 流	川 瀬 毅	千 葉 県
296	夢 想 神 伝 流	池 田 敏 克	東 京 都
297	無 双 直 伝 英 信 流	藤 原 孝 樹	兵 庫 県
298	夢 想 神 伝 流	萩 原 康	山 梨 県
299	夢 想 神 伝 流	宮 原 浩 義	長 野 県
300	夢 想 神 伝 流	木 村 正 幸	栃 木 県
301	夢 想 神 伝 流	佐 藤 三 郎	宮 崎 県
302	夢 想 神 伝 流	小 川 内 泰 生	福 岡 県
303	夢 想 神 伝 流	布 目 大 剛	富 山 県
304	夢 想 神 伝 流	滝 澤 恒 徳	長 野 県
305	夢 想 神 伝 流	笠 原 宏 一	北 海 道
306	夢 想 神 伝 流	中 川 佳 洋	山 形 県
307	夢 想 神 伝 流	馬 場 清 治	福 岡 県
308	無 双 直 伝 英 信 流	直 原 徳 賢	岡 山 県
309	無 双 直 伝 英 信 流	菊 池 達 也	愛 媛 県
310	無 双 直 伝 英 信 流	久 木 孝 夫	三 重 県
311	夢 想 神 伝 流	小 野 順	岩 手 県
312	夢 想 神 伝 流	是 枝 幸 也	鹿 児 島 県
313	夢 想 神 伝 流	志 賀 正 光	福 島 県
314	田 宮 流	庄 子 都代子	宮 城 県
315	無 双 直 伝 英 信 流	亀 井 洋 祐	高 知 県
316	無 双 直 伝 英 信 流	宇 都 宮 聡	愛 媛 県
317	夢 想 神 傳 重 信 流	白 井 慶 子	兵 庫 県
318	無 双 直 伝 英 信 流	岡 嶋 聡	京 都 府

319	夢 想 神 伝 流	横 山 和 日 光	長 野 県
320	無 双 直 伝 英 信 流	椎 屋 正 文	兵 庫 県
321	夢 想 神 伝 流	関 展 秀	茨 城 県
322	水 鷗 流	青 木 秀 澄	静 岡 県
323	無 双 直 伝 英 信 流	丸 岡 昭 仁	高 知 県
324	夢 想 神 伝 流	仲 井 間 憲 亮	沖 縄 県
325	夢 想 神 伝 流	秋 葉 広 行	千 葉 県
326	無 双 直 伝 英 信 流	本 郷 雅 昭	大 阪 府
327	夢 想 神 伝 流	広 瀬 美 智 代	栃 木 県
328	夢 想 神 傳 重 信 流	川 路 俊 博	福 岡 県
329	夢 想 神 伝 流	糸 田 孝 博	東 京 都
330	水 鷗 流	勝 瀬 文 孝	静 岡 県
331	夢 想 神 伝 流	小 宮 山 克 己	埼 玉 県
332	夢 想 神 伝 流	森 島 一 機	神 奈 川 県
333	新 陰 流	木ノ本 みゆき	愛 知 県
334	夢 想 神 伝 流	松 本 保 典	埼 玉 県
335	夢 想 神 伝 流	伊 藤 政 敏	茨 城 県
336	夢 想 神 伝 流	山 田 博	千 葉 県
337	夢 想 神 伝 流	金 成 利 松	福 島 県
338	夢 想 神 伝 流	小 野 澤 隆 一	埼 玉 県
339	夢 想 神 伝 流	小 堀 康 之	群 馬 県
340	夢 想 神 伝 流	鈴 木 清 和	山 形 県
341	無 双 直 伝 英 信 流	長 谷 川 善 久	愛 知 県
342	夢 想 神 伝 流	中 西 英 樹	神 奈 川 県
343	伯 耆 流	山 田 源 士	京 都 府
344	夢 想 神 伝 流	仲 田 昌 司	神 奈 川 県
345	夢 想 神 伝 流	青 木 千 利 子	鹿 児 島 県
346	夢 想 神 伝 流	興 島 宏	千 葉 県
347	夢 想 神 伝 流	金 田 和 久	東 京 都
348	無 双 直 伝 英 信 流	香 村 茂	岐 阜 県

349	無双直伝英信流	瀧	順	一	愛知県
350	夢想神伝流	古	市	典雄	神奈川県
351	無双直伝英信流	大	下	政一	兵庫県
352	夢想神伝流	平	野	政弘	茨城県
353	夢想神伝流	森	重	鎮男	山口県
354	夢想神伝流	津	金	政雄	山梨県
355	無双直伝英信流	澁	川	奨	福島県
356	夢想神伝流	伊	藤	知治	東京都
357	無双直伝英信流	大	群	和史	熊本県

範士八段

358	無双直伝英信流	國	方	孝之	福岡県
359	夢想神伝流	参	川	憲昭	岐阜県
360	夢想神伝流	柴	田	幸信	山口県
361	無双直伝英信流	山	洪	数則	岡山県
362	夢想神伝流	小	田	信秋	福岡県
363	夢想神伝流	川	村	勝幸	北海道
364	無双直伝英信流	松	田	忠男	高知県
365	無双直伝英信流	坂	本	憲一	徳島県

366	無外流	伊	藤	繁男	東京都
367	無双直伝英信流	石	田	純士	秋田県
368	夢想神伝流	山	崎	明正	茨城県
369	無双直伝英信流	畠	中	篤美	東京都
370	夢想神伝流	佐	藤	忍	埼玉県
371	夢想神伝流	品	田	峯雄	新潟県
372	夢想神伝流	原	田	一廣	山形県
373	無双直伝英信流	光	行	良一	大阪府
374	夢想神伝流	佐々	木	幹彦	宮城県
375	無双直伝英信流	木	村	幸比古	京都府
376	夢想神伝流	立	野	忠男	茨城県
377	夢想神伝流	久	保	正男	神奈川県
378	夢想神伝流	宮	崎	賢太郎	長崎県
379	夢想神伝流	井	手	友太	福岡県
380	夢想神伝流	上國	料	修一	鹿児島県
381	無双直伝英信流	東		義信	大分県
382	夢想神伝流	草	間	純市	新潟県
383	無双直伝英信流	三	谷	昭雄	高知県

全日本居合道大会栄光の記録

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 1 回 (昭和41年11月3日) 大 阪 府 大 阪 市 立 修 道 館	一位 大 阪 府 二位 茨 城 県 三位 岡 山 県	一位 山 渋 保 雄 二位 木 村 昌 二 三位 大 祢 一 郎	(岡 山 県) (大 阪 府) (茨 城 県)
第 2 回 (昭和42年9月10日) 東 京 都 日 本 武 道 館	一位 東 京 都 二位 大 分 県 三位 高 知 県	一位 田 中 實 二位 林 武 道 三位 佐 川 博 男	(東 京 都) (大 分 県) (東 京 都)
第 3 回 (昭和43年10月13日) 岐 阜 県 大垣スポーツセンター	一位 岐 阜 県 二位 山 口 県 三位 東 京 都	一位 富ヶ原 富 義 二位 森 十 郎 三位 佐々木 一 郎	(山 口 県) (岐 阜 県) (岐 阜 県)
第 4 回 (昭和44年10月5日) 山 口 県 山 口 県 立 体 育 館	一位 山 口 県 二位 岡 山 県 三位 大 分 県	一位 富ヶ原 富 義 二位 塩 川 成 照 三位 山 渋 吉 数	(山 口 県) (山 口 県) (岡 山 県)
第 5 回 (昭和45年11月3日) 大 阪 府 大 阪 市 立 修 道 館	一位 岡 山 県 二位 東 京 都 三位 神 奈 川 県	一位 田 中 實 二位 大 祢 一 郎 三位 山 渋 吉 数	(東 京 都) (茨 城 県) (岡 山 県)
第 6 回 (昭和46年11月7日) 香 川 県 香 川 県 立 体 育 館	一位 香 川 県 二位 山 口 県 三位 岡 山 県	七段 一位 鈴 木 庸 介 六段 二位 草 間 昭 盛 五段 一位 森 川 一 雄 二位 小 林 俊 彦 一位 河 口 生 彦 二位 友 宗 明 彦	(東 京 都) (新 潟 県) (香 川 県) (茨 城 県) (山 口 県) (大 阪 府)
第 7 回 (昭和47年9月3日) 東 京 都 目 黒 区 体 育 館	一位 広 島 県 二位 東 京 都 三位 山 口 県	七段 一位 佐 川 博 男 六段 二位 石 堂 太 郎 一位 河 口 俊 彦 二位 中 西 一 貢 五段 一位 石 垣 貢 男 二位 牧 村 幸 男	(東 京 都) (神 奈 川 県) (山 口 県) (広 島 県) (東 京 都) (広 島 県)
第 8 回 (昭和48年9月15日) 北 海 道 札 幌 市 中 央 体 育 館	一位 山 口 県 二位 大 分 県 三位 東 京 都	七段 一位 富ヶ原 富 義 六段 二位 古 川 健 一 一位 藤 原 貴 志 二位 河 口 俊 彦 五段 一位 後 上 政 利 二位 上 田 治 治	(山 口 県) (東 京 都) (大 分 県) (山 口 県) (大 分 県) (大 阪 府)

大 会	団 体 試 合 成 績			個 人 試 合 成 績						(都道府県名)				
第 9 回 (昭和49年11月3日) 静 岡 県 静 岡 市 民 体 育 館	一位	大 分 県	七段	一位	山 下 正 光	二位	遠 高 藤 後 氏	三位	山 原 藤 原 貴 志	四位	山 原 藤 原 貴 志	(福 岡 県)	(大 分 県)	(京 都 府)
	二位	東 京 都	六段	一位	山 下 正 光	二位	遠 高 藤 後 氏	三位	山 原 藤 原 貴 志	四位	山 原 藤 原 貴 志	(大 分 県)	(大 分 県)	(大 分 県)
	三位	静 岡 県	五段	一位	山 下 正 光	二位	遠 高 藤 後 氏	三位	山 原 藤 原 貴 志	四位	山 原 藤 原 貴 志	(大 分 県)	(大 分 県)	(大 分 県)
第 10 回 (昭和50年11月3日) 大 分 県 別府市立別府商業高等学校体育館	一位	大 阪 府	七段	一位	香 山 西 好 雄	二位	山 奥 片 田 富 蔵	三位	山 奥 片 田 富 蔵	四位	山 奥 片 田 富 蔵	(香 岡 県)	(川 崎 県)	(道 志 川 県)
	二位	香 川 県	六段	一位	香 山 西 好 雄	二位	山 奥 片 田 富 蔵	三位	山 奥 片 田 富 蔵	四位	山 奥 片 田 富 蔵	(香 岡 県)	(川 崎 県)	(道 志 川 県)
	三位	北 海 道	五段	一位	香 山 西 好 雄	二位	山 奥 片 田 富 蔵	三位	山 奥 片 田 富 蔵	四位	山 奥 片 田 富 蔵	(香 岡 県)	(川 崎 県)	(道 志 川 県)
第 11 回 (昭和51年10月31日) 福 島 県 福島市霞町福島体育館	一位	山 口 県	七段	一位	野 瀬 戸 田 亨	二位	加 藤 口 伯 本	三位	加 藤 口 伯 本	四位	加 藤 口 伯 本	(高 知 県)	(児 島 県)	(島 根 県)
	二位	鹿 児 島 県	六段	一位	野 瀬 戸 田 亨	二位	加 藤 口 伯 本	三位	加 藤 口 伯 本	四位	加 藤 口 伯 本	(高 知 県)	(児 島 県)	(島 根 県)
	三位	東 京 都	五段	一位	野 瀬 戸 田 亨	二位	加 藤 口 伯 本	三位	加 藤 口 伯 本	四位	加 藤 口 伯 本	(高 知 県)	(児 島 県)	(島 根 県)
第 12 回 (昭和52年10月30日) 広 島 県 宮島町宮島中学校体育館	一位	大 分 県	七段	一位	三 谷 浦 村 正 雄	二位	加 藤 藤 本 木 彦	三位	加 藤 藤 本 木 彦	四位	加 藤 藤 本 木 彦	(岩 手 県)	(愛 媛 県)	(大 分 県)
	二位	広 島 県	六段	一位	三 谷 浦 村 正 雄	二位	加 藤 藤 本 木 彦	三位	加 藤 藤 本 木 彦	四位	加 藤 藤 本 木 彦	(岩 手 県)	(愛 媛 県)	(大 分 県)
	三位	愛 媛 県	五段	一位	三 谷 浦 村 正 雄	二位	加 藤 藤 本 木 彦	三位	加 藤 藤 本 木 彦	四位	加 藤 藤 本 木 彦	(岩 手 県)	(愛 媛 県)	(大 分 県)
第 13 回 (昭和53年10月29日) 鹿 児 島 県 鹿 児 島 県 立 体 育 館	一位	鹿 児 島 県	七段	一位	山 国 上 七 佐 春	二位	下 田 料 三 伯 名	三位	下 田 料 三 伯 名	四位	下 田 料 三 伯 名	(福 岡 県)	(山 口 県)	(鹿 児 島 県)
	二位	山 口 県	六段	一位	山 国 上 七 佐 春	二位	下 田 料 三 伯 名	三位	下 田 料 三 伯 名	四位	下 田 料 三 伯 名	(福 岡 県)	(山 口 県)	(鹿 児 島 県)
	三位	神 奈 川 県	五段	一位	山 国 上 七 佐 春	二位	下 田 料 三 伯 名	三位	下 田 料 三 伯 名	四位	下 田 料 三 伯 名	(福 岡 県)	(山 口 県)	(鹿 児 島 県)
第 14 回 (昭和54年10月28日) 神 奈 川 県 箱根小涌園グリーンパレス体育館	一位	神 奈 川 県	七段	一位	石 国 井 佐 畠 笹	二位	堂 田 手 伯 山	三位	堂 田 手 伯 山	四位	堂 田 手 伯 山	(神 奈 川 県)	(山 口 県)	(大 阪 府)
	二位	山 口 県	六段	一位	石 国 井 佐 畠 笹	二位	堂 田 手 伯 山	三位	堂 田 手 伯 山	四位	堂 田 手 伯 山	(神 奈 川 県)	(山 口 県)	(大 阪 府)
	三位	広 島 県	五段	一位	石 国 井 佐 畠 笹	二位	堂 田 手 伯 山	三位	堂 田 手 伯 山	四位	堂 田 手 伯 山	(神 奈 川 県)	(山 口 県)	(大 阪 府)
第 15 回 (昭和55年10月26日) 愛 媛 県 愛媛県総合運動公園体育館	一位	愛 媛 県	七段	一位	国 谷 西 佐 宇 春	二位	田 村 川 伯 宮 名	三位	田 村 川 伯 宮 名	四位	田 村 川 伯 宮 名	(山 口 県)	(愛 媛 県)	(愛 媛 県)
	二位	山 口 県	六段	一位	国 谷 西 佐 宇 春	二位	田 村 川 伯 宮 名	三位	田 村 川 伯 宮 名	四位	田 村 川 伯 宮 名	(山 口 県)	(愛 媛 県)	(愛 媛 県)
	三位	大 阪 府	五段	一位	国 谷 西 佐 宇 春	二位	田 村 川 伯 宮 名	三位	田 村 川 伯 宮 名	四位	田 村 川 伯 宮 名	(山 口 県)	(愛 媛 県)	(愛 媛 県)
第 16 回 (昭和56年10月25日) 茨 城 県 東 町 運 動 公 園 体 育 館	一位	茨 城 県	七段	一位	小 国 関 井 宮 中	二位	林 田 手 田 垣	三位	林 田 手 田 垣	四位	林 田 手 田 垣	(茨 城 県)	(茨 城 県)	(茨 城 県)
	二位	山 口 県	六段	一位	小 国 関 井 宮 中	二位	林 田 手 田 垣	三位	林 田 手 田 垣	四位	林 田 手 田 垣	(茨 城 県)	(茨 城 県)	(茨 城 県)
	三位	神 奈 川 県	五段	一位	小 国 関 井 宮 中	二位	林 田 手 田 垣	三位	林 田 手 田 垣	四位	林 田 手 田 垣	(茨 城 県)	(茨 城 県)	(茨 城 県)

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績				(都道府県名)
第 17 回 (昭和57年10月24日) 福 岡 県 福岡市民体育館	一位 山 口 県 二位 福 岡 県 三位 岡 山 県	七段 一位 波 奥 佐 中 笹 六段 二位 止 田 藤 村 垣 五段 一位 成 富 四 十 四 二位 徳 蔵 一 郎 孝 美				(福 岡 県) (北 海 道) (岡 山 県) (東 京 都) (山 口 県) (大 阪 府)
第 18 回 (昭和58年 8 月28日) 北 海 道 道立札幌中島体育センター別館	一位 北 海 道 二位 山 口 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 奥 井 畠 柳 中 坂 六段 二位 田 手 山 沢 垣 江 五段 一位 富 克 耕 励 八 二位 藏 彦 吉 一 孝 郎				(北 海 道) (広 島 県) (神 奈 川 県) (福 島 県) (山 口 県) (東 京 都)
第 19 回 (昭和59年10月 7 日) 山 口 県 山口県スポーツ文化センター	一位 山 口 県 二位 広 島 県 三位 大 阪 府	七段 一位 井 石 中 好 塩 川 六段 二位 手 堂 垣 永 満 西 五段 一位 克 倭 宏 秀 郁 二位 彦 文 孝 郎 夫 男				(広 島 県) (神 奈 川 県) (山 口 県) (高 知 県) (山 口 県) (大 阪 府)
第 20 回 (昭和60年10月 6 日) 沖 縄 県 沖縄市営体育館	一位 沖 縄 県 二位 山 口 県 三位 東 京 都	七段 一位 河 波 仲 井 間 垣 斐 田 六段 二位 口 止 間 垣 斐 田 五段 一位 俊 成 憲 英 利 二位 彦 徳 児 孝 二 和				(山 口 県) (福 岡 県) (沖 縄 県) (山 口 県) (宮 崎 県) (愛 知 県)
第 21 回 (昭和61年10月26日) 新 潟 県 新潟市体育館	一位 新 潟 県 二位 東 京 都 三位 山 口 県	七段 一位 三 佐 草 塩 石 金 六段 二位 谷 藤 間 満 塚 田 五段 一位 昭 四 十 四 二位 雄 一 吉 夫 郎 久				(高 知 県) (岡 山 県) (新 潟 県) (山 口 県) (新 潟 県) (東 京 都)
第 22 回 (昭和62年10月 4 日) 高 知 県 県立春日野総合運動公園体育館	一位 高 知 県 二位 岡 山 県 三位 東 京 都	七段 一位 三 井 野 春 松 金 六段 二位 谷 手 島 名 田 田 五段 一位 昭 克 信 松 忠 和 二位 雄 彦 彦 男 男 久				(高 知 県) (広 島 県) (高 知 県) (岡 山 県) (高 知 県) (東 京 都)
第 23 回 (昭和63年10月 9 日) 大 阪 府 大阪府立体育館	一位 大 阪 府 二位 山 口 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 井 春 東 塩 金 本 六段 二位 手 名 口 満 田 郷 五段 一位 克 松 末 秀 和 雅 二位 彦 男 治 夫 久 昭				(広 島 県) (岡 山 県) (大 阪 府) (山 口 県) (東 京 都) (大 阪 府)
第 24 回 (平成元年10月15日) 愛 知 県 名古屋市露橋スポーツセンター	一位 東 京 都 二位 鹿 児 島 県 三位 岡 山 県	七段 一位 春 三 金 前 桑 是 六段 二位 名 谷 田 田 枝 五段 一位 松 昭 和 利 正 幸 二位 男 雄 久 和 悟 也				(岡 山 県) (高 知 県) (東 京 都) (愛 知 県) (東 京 都) (鹿 児 島 県)

大 会	団 体 試 合 成 績		個 人 試 合 成 績					(都道府県名)
第 25 回 (平成 2 年10月14日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 東 京 都 二位 山 口 県 三位 鹿 児 島 県	七段 一位 副 島 學 六段 二位 佐 藤 四 五位 金 田 和 二位 宇 佐 川 一位 高 原 木 信 二位	(東 京 都) (岡 山 県) (東 京 都) (山 口 県) (山 口 県) (山 形 県)					
第 26 回 (平成 3 年10月13日) 宮 城 県 仙 台 市 体 育 館	一位 東 京 都 二位 宮 城 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 鈴 木 佐 三 六段 二位 柳 澤 励 五位 金 田 和 二位 平 野 政 一位 桑 田 正 二位 佐 々 木 幹	(宮 城 県) (福 島 県) (東 京 都) (神 奈 川 県) (東 京 都) (宮 城 県)					
第 27 回 (平成 4 年10月18日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 東 京 都 二位 神 奈 川 県 三位 福 岡 県	七段 一位 吉 川 亀 六段 二位 平 野 美 五位 桑 田 悟 一位 横 田 隆 二位 小 川 生 一位 石 井 澄	(東 京 都) (神 奈 川 県) (東 京 都) (北 海 道) (福 岡 県) (大 分 県)					
第 28 回 (平成 5 年10月31日) 福 岡 県 九 電 記 念 体 育 館	一位 福 岡 県 二位 神 奈 川 県 三位 岡 山 県	七段 一位 井 手 友 太 六段 二位 春 名 松 男 五位 桑 田 悟 一位 堀 江 生 二位 小 川 機 一位 森 島	(福 岡 県) (岡 山 県) (東 京 都) (福 岡 県) (福 岡 県) (神 奈 川 県)					
第 29 回 (平成 6 年10月30日) 埼 玉 県 秩 父 市 文 化 体 育 セ ン タ ー	一位 東 京 都 二位 福 岡 県 三位 埼 玉 県	七段 一位 金 田 和 久 六段 二位 平 野 政 弘 五位 桑 田 悟 一位 横 田 隆 二位 小 川 生 一位 佐 藤 一	(東 京 都) (茨 城 県) (東 京 都) (北 海 道) (福 岡 県) (宮 城 県)					
第 30 回 (平成 7 年10月22日) 熊 本 県 熊 本 市 総 合 体 育 館	一位 熊 本 県 二位 新 潟 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 草 間 淳 吉 六段 二位 大 谷 群 史 五位 石 田 男 一位 木 井 澄 二位 森 村 年 一位	(新 潟 県) (熊 本 県) (高 知 県) (大 分 県) (熊 本 県) (神 奈 川 県)					
第 31 回 (平成 8 年10月20日) 石 川 県 松 任 総 合 運 動 公 園 文 化 体 育 館	一位 東 京 都 二位 神 奈 川 県 三位 石 川 県	七段 一位 金 田 和 久 六段 二位 平 小 美 五位 久 孝 一位 市 一 二位 中 学 一位 英	(東 京 都) (神 奈 川 県) (大 阪 府) (大 分 県) (東 京 都) (宮 城 県)					
第 32 回 (平成 9 年10月19日) 鹿 児 島 県 鹿 児 島 ア リ ー ナ	一位 鹿 児 島 県 二位 東 京 都 三位 神 奈 川 県	七段 一位 金 田 和 久 六段 二位 中 村 正 五位 是 枝 幸 一位 小 川 泰 二位 乗 島 道 一位 信	(東 京 都) (石 川 県) (鹿 児 島 県) (福 岡 県) (愛 媛 県) (茨 城 県)					

大 会	団 体 試 合 成 績			個 人 試 合 成 績				(都道府県名)	
第 33 回 (平成10年10月17日) 広 島 県 広島県立総合体育館	一位 広 島 県 二位 東 京 都 三位 北 海 道	七段 一位 金井 田手 和友 久太 六段 二位 国 方 孝 太 五段 一位 森 田 忠 之 二位 市 川 啓 彦 二位 柏 原 壮	(東 京 都) (福 岡 県) (広 島 県) (京 都 府) (東 京 都) (広 島 県)						
第 34 回 (平成11年10月23日) 山 形 県 山形県総合運動公園体育館	一位 山 形 県 二位 東 京 都 三位 福 岡 県	七段 一位 原井 田手 一 廣 六段 二位 鈴 木 友 太 五段 一位 森 関 清 和 二位 鈴 関 展 彦 二位 鈴 関 亨 秀	(山 形 県) (福 岡 県) (山 形 県) (京 都 府) (茨 城 県) (山 形 県)						
第 35 回 (平成12年10月21日) 大 分 県 大分県立総合体育館	一位 大 分 県 二位 神 奈 川 県 三位 福 岡 県	七段 一位 久井 保手 純 一 六段 二位 小 坂 友 郎 五段 一位 森 島 隆 一 二位 村 木 廣 機 二位 島 田 志 男	(大 分 県) (福 岡 県) (大 分 県) (神 奈 川 県) (北 海 道) (山 梨 県)						
第 36 回 (平成13年10月20日) 山 梨 県 小瀬スポーツ公園武道館	一位 山 梨 県 二位 茨 城 県 三位 大 分 県	七段 一位 津東 金口 政 雄 六段 二位 小 坂 末 治 五段 一位 森 坂 隆 郎 二位 島 本 恒 世 二位 関 秀 男 秀	(山 梨 県) (大 阪 府) (大 分 県) (高 知 県) (山 梨 県) (茨 城 県)						
第 37 回 (平成14年10月19日) 大 阪 府 大阪府中央体育館	一位 大 阪 府 二位 神 奈 川 県 三位 大 分 県	七段 一位 東高 口野 末 治 六段 二位 森 島 一 郎 五段 一位 小 坂 隆 一 二位 野 坂 克 郎 二位 中 村 高 哉 達	(大 阪 府) (島 根 県) (神 奈 川 県) (大 分 県) (大 阪 府) (宮 崎 県)						
第 38 回 (平成15年10月18日) 埼 玉 県 秩父市文化体育センター	一位 埼 玉 県 二位 大 分 県 三位 鹿 児 島 県	七段 一位 小野 澤 隆 一 六段 二位 高 野 宮 一 五段 一位 小 山 坂 克 郎 二位 柳 川 本 雅 淳 二位 丸 本 庸 郎	(埼 玉 県) (島 根 県) (埼 玉 県) (大 分 県) (埼 玉 県) (大 阪 府)						
第 39 回 (平成16年10月16日) 宮 崎 県 宮 崎 県 武 道 館	一位 宮 崎 県 二位 埼 玉 県 三位 兵 庫 県	七段 一位 片光 貝行 知 明 六段 二位 鈴 木 良 一 五段 一位 小 宮 保 邦 二位 中 山 克 高 達 淳 二位 柳 村 川 淳	(宮 崎 県) (大 阪 府) (宮 崎 県) (埼 玉 県) (宮 崎 県) (埼 玉 県)						
第 40 回 (平成17年10月15日) 千 葉 県 千葉ポートアリーナ	一位 千 葉 県 二位 埼 玉 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 與森 島 宏 六段 二位 秋 葉 一 五段 一位 関 瀬 広 二位 川 野 展 二位 西 野 孝 毅	(千 葉 県) (神 奈 川 県) (千 葉 県) (茨 城 県) (千 葉 県) (大 分 県)						

大 会	団 体 試 合 成 績			個 人 試 合 成 績					(都道府県名)
第 41 回 (平成18年10月21日) 北 海 道 北海道立総合体育センター	一位	千 葉 県	七段	一位	與 島	島 島	一 展	宏 機	(千 葉 県)
	二位	北 海 道	六段	二位	森 関	崎 瀬	卓 耕	秀 司	(神 奈 川 県)
	三位	神 奈 川 県	五段	一位	山 川	古 野		毅 一	(茨 城 県)
				二位					(静 岡 県)
									(千 葉 県)
									(北 海 道)
第 42 回 (平成19年10月20日) 岡 山 県 岡山県体育館桃太郎アリーナ	一位	岡 山 県	七段	一位	山 森	洪 島	数 一	則 機	(岡 山 県)
	二位	神 奈 川 県	六段	二位	菊 秋	元 葉	富 広	貴 行	(神 奈 川 県)
	三位	千 葉 県	五段	一位	原 笠	田 原	宏	渡 一	(岡 山 県)
				二位					(千 葉 県)
									(神 奈 川 県)
									(北 海 道)
第 43 回 (平成20年10月25日) 宮 城 県 仙台市体育館	一位	宮 城 県	七段	一位	佐 々 木	木 葉	幹 広	彦 行	(宮 城 県)
	二位	千 葉 県	六段	二位	秋 山	崎 塔	卓 正	司 徹	(千 葉 県)
	三位	静 岡 県	五段	一位	赤 広 氏	瀬 平	憲	祐 祐	(静 岡 県)
				二位				正	(宮 城 県)
									(長 崎 県)
									(千 葉 県)
第 44 回 (平成21年10月24日) 長 崎 県 島原復興アリーナ	一位	長 崎 県	七段	一位	森 月	島 見	一 一	機 博	(神 奈 川 県)
	二位	神 奈 川 県	六段	二位	山 高	崎 木	卓 志	司 伸	(長 崎 県)
	三位	新 潟 県	五段	一位	広 今	瀬 井	正 恒	祐 祐	(静 岡 県)
				二位				之	(長 崎 県)
									(新 潟 県)
									(新 潟 県)
第 45 回 (平成22年10月23日) 新 潟 県 新潟市東総合スポーツセンター	一位	新 潟 県	七段	一位	品 森	田 島	峯 一	雄 機	(新 潟 県)
	二位	神 奈 川 県	六段	二位	世 原	利 田	慎 恒	吾 渡	(神 奈 川 県)
	三位	千 葉 県	五段	一位	今 岡	井 安		之 誠	(福 岡 県)
				二位					(神 奈 川 県)
									(新 潟 県)
									(岡 山 県)
第 46 回 (平成23年10月22日) 愛 媛 県 愛媛県武道館	一位	愛 媛 県	七段	一位	菊 山	池 崎	達 卓	也 司	(愛 媛 県)
	二位	神 奈 川 県	六段	二位	宇 都 宮	宮 田		聡 渡	(静 岡 県)
	三位	埼 玉 県	五段	一位	原 乘	松 岡	壮 裕	志 樹	(愛 媛 県)
				二位	平				(神 奈 川 県)
									(愛 媛 県)
									(神 奈 川 県)
第 47 回 (平成24年10月20日) 静 岡 県 静岡県武道館	一位	静 岡 県	七段	一位	山 小	崎 坂	卓 隆	司 郎	(静 岡 県)
	二位	福 岡 県	六段	二位	松 原	下 田	武	一 人	(大 分 県)
	三位	新 潟 県	五段	一位	大 井	西 手	伸 烈	渡 和	(静 岡 県)
				二位			太 郎	郎	(神 奈 川 県)
									(新 潟 県)
									(福 岡 県)
第 48 回 (平成25年10月12日) 大 分 県 べっぴアリーナ (別府市総合体育館)	一位	大 分 県	七段	一位	小 関	坂 田	隆 展	一 郎	(大 分 県)
	二位	神 奈 川 県	六段	二位	原 大	石 平	賢 友	秀 渡	(茨 城 県)
	三位	福 島 県	五段	一位	大 乗	松	壮	介 和	(神 奈 川 県)
				二位				志	(大 分 県)
									(大 分 県)
									(愛 媛 県)

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 49 回 (平成26年10月25日) 福 島 県 あづま総合運動公園 (県営あづま総合体育館)	一位 福 島 県 二位 福 岡 県 三位 東 京 都	七段 一位 井 上 貴 宏 二位 馬 場 清 治 一位 塩 見 俊 夫 二位 大 西 伸 和 一位 佐 久 間 聡 二位 井 手 太 郎	(福 島 県) (福 岡 県) (福 岡 県) (新 潟 県) (福 島 県) (福 岡 県)
第 50 回 (平成27年10月17日) 福 岡 県 ア ク シ オ ン 福 岡	一位 福 岡 県 二位 東 京 都 三位 神 奈 川 県	七段 一位 馬 場 清 治 二位 宇 都 宮 次 郎 一位 末 吉 井 山 二位 井 山 田 一位 井 山 田 二位 井 山 田	(福 岡 県) (愛 媛 県) (福 岡 県) (東 京 都) (福 岡 県) (東 京 都)
第 51 回 (平成28年10月22日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 東 京 都 二位 神 奈 川 県 三位 京 都 府	七段 一位 桑 田 孝 博 二位 原 田 真 渡 一位 吉 田 真 澄 二位 ブ ラ イ ヤ ー ・ ボ ウ 一位 山 田 学 二位 石 橋 剛	(東 京 都) (神 奈 川 県) (東 京 都) (京 都 府) (東 京 都) (京 都 府)
第 52 回 (平成29年10月21日) 広 島 県 広 島 サ ン プ ラ ザ	一位 広 島 県 二位 新 潟 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 宮 脇 誠 吾 二位 原 田 松 壮 一位 乘 大 西 大 二位 大 草 戒 浩 一位 大 草 戒 浩 二位 大 草 戒 浩	(広 島 県) (神 奈 川 県) (愛 媛 県) (新 潟 県) (新 潟 県) (広 島 県)
第 53 回 (平成30年10月20日) 茨 城 県 茨 城 県 武 道 館	一位 茨 城 県 二位 神 奈 川 県 三位 東 京 都 三位 高 知 県 三位 福 岡 県	七段 一位 関 野 展 秀 二位 宇 都 宮 野 陵 一位 中 野 馬 良 二位 相 安 藤 和 一位 安 山 本 二位 安 山 本	(茨 城 県) (愛 媛 県) (神 奈 川 県) (栃 木 県) (香 川 県) (静 岡 県)
第 54 回 (2019年10月19日) 高 知 県 高 知 県 民 体 育 館	一位 高 知 県 二位 新 潟 県 三位 東 京 都	七段 一位 丸 岡 昭 仁 二位 宇 都 宮 口 雄 一位 圓 岩 井 正 二位 岩 井 美 一位 亀 小 山 二位 亀 小 山	(高 知 県) (愛 媛 県) (東 京 都) (高 知 県) (高 知 県) (埼 玉 県)
第 55 回 (令和 2 年10月17日) 石 川 県 いしかわ総合スポーツセンター	新型コロナウイルス感染症拡大の為中止		
第 56 回 (令和 3 年10月 9 日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 神 奈 川 県 二位 新 潟 県 三位 東 京 都	七段 一位 大 吉 西 伸 和 二位 中 野 真 澄 一位 草 田 大 伸 二位 草 田 大 伸 一位 草 田 大 伸 二位 草 田 大 伸	(新 潟 県) (東 京 都) (神 奈 川 県) (新 潟 県) (東 京 都) (静 岡 県)

大会	団体試合成績	個人試合成績	(都道府県名)
第 57 回 (令和 4 年10月 8 日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 東 京 都 二位 千 葉 県 三位 新 潟 県	七段 一位 原 田 渡 二位 浅 岡 美 六段 一位 草 間 介 二位 井 手 郎 五段 一位 田 中 明 二位 大 野 直	(神 奈 川 県) (富 山 県) (新 潟 県) (福 岡 県) (東 京 都) (千 葉 県)
第 58 回 (令和 5 年10月21日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 静 岡 県 二位 新 潟 県 三位 群 馬 県	七段 一位 原 田 渡 二位 松 下 武 六段 一位 山 本 亮 二位 草 間 介 五段 一位 西 川 都 二位 田 中 明	(神 奈 川 県) (静 岡 県) (静 岡 県) (新 潟 県) (愛 知 県) (東 京 都)
第 59 回 (令和 6 年10月19日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 神 奈 川 県 二位 香 川 県 三位 新 潟 県	七段 一位 大 西 伸 二位 原 田 和 六段 一位 村 松 季 二位 安 藤 希 五段 一位 西 川 都 二位 山 本 来	(新 潟 県) (神 奈 川 県) (山 梨 県) (香 川 県) (愛 知 県) (神 奈 川 県)
第 60 回 (令和 7 年10月11日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 新 潟 県 二位 神 奈 川 県 三位 東 京 都	七段 一位 大 西 伸 二位 原 田 和 六段 一位 草 間 介 二位 亀 井 大 五段 一位 山 本 美 二位 松 浦 汐	(新 潟 県) (神 奈 川 県) (新 潟 県) (高 知 県) (神 奈 川 県) (新 潟 県)
第 61 回 (令和 8 年10月 3 日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 二位 三位	七段 一位 二位 六段 一位 二位 五段 一位 二位	() () () () () ()

全日本居合道大会観戦の手引き

—居合道の歴史と現代におけるその意義—

【居合道の歩み】

剣術は鞘から刀を抜いた状態から敵と相対します。居合（抜刀術）は突然敵に襲われたような場合、咄嗟に鞘より抜刀して自分の身を護るための術で、戦国時代にさかのぼる古い実践的な武術です。居合の始祖といわれる林崎甚助重信^{はやしざきじんすけしげのぶ}が伝えた神夢想林崎流は、その後多くの流派に分かれ、一宮流、水鷗流^{すいおう}、田宮流、関口流、長谷川英信流、大森流、伯耆流^{ほうき}など20数流派を生み出しました。

明治9年に廃刀令が出され、剣術は衰退していき、かつて70余派あったといわれる居合の流派も20余りとなりました。武道振興のために明治28年大日本武徳会が設立されました。のちに剣道・居合道・杖道三道の範士となり、居合道中興の祖と言われた中山博道は土佐に赴き、無双直伝英信流を学びました。中山はこれに独自の工夫を重ね、夢想神伝流と呼ばれる新しい流派の基礎を築き、無双直伝英信流とともに、現在日本で最大の流派をなしています。

【古流と全日本剣道連盟居合の誕生】

終戦の昭和20年、武道はGHQによって全面的に禁止されましたが、昭和27年、全日本剣道連盟が結成されて剣道は復活し、昭和31年には居合道が全日本剣道連盟の傘下に入りました。昭和40年代に入り、少年剣道ブームとともに剣道のスポーツ化は著しく、全日本剣道連盟は武道としての剣道の精神を守り伝えるべく、昭和44年、「全日本剣道連盟居合」を制定しました。俗に「制定居合」と呼ばれています。

これは本来、剣道高段者に剣道の原点である日本刀の基礎的な取り扱い方、正しい刀法を学んでもらうために、「古流」と呼ばれる古くから伝わる居合道各流派のエッセンスを集大成し、7本の形にまとめたものです。しかし、実際には剣道家の間にはあまり普及せず、むしろ居合道を学ぶ人たちの間に広く浸透していきました。

「全日本剣道連盟居合」という共通の形が生れたことにより、全国どこでも統一された形を学ぶことができるようになり、審査や試合も流派を超えた交流が可能となり、その後の居合道の普及発展に大きな役割を果たしました。昭和55年には従来の7本に加えて新たに3本が、平成12年にはさらに2本が追加され、現在12本となっています。

【現代における居合道修練の意義】

居合道人口、ことに女性や海外における愛好者数の増加は著しいものがあります。その理由の一つは、日本刀の持つ魅力にもよるでしょうが、居合道の持つ深い精神性にあるといえるでしょう。現代の平和な日本において、刀で人を切る業を学ぶ居合道にどのような意味があるのでしょうか。

居合の極意は「鞘の内（鞘から刀を抜かないこと）」^{さやのうち}といわれています。刀はいったん抜いてしまえば、必ずどちらか、あるいは双方が命を落とすか傷つくことになるでしょう。居合道修行の最終目的は、相手との無益な争いを避け、刀を抜かずして勝ちを収める和の精神にあります。そのためには、相手に刀を抜かせないだけの人間としての品格、気位が求められます。これこそ全日本剣道連盟が武道修行の最終目的として掲げている人間形成の道に他なりません。

刀を振ることは手段であって、決して目的ではありません。剣を手にして修練を重ねてゆく内に、自然と美しい立ち居振る舞い、礼法と呼ばれる他者を大切に思いやる心が養われます。また残心と

呼ばれる、「もののあわれ」を知る感性豊かな心が育まれてゆきます。「^{じきしんこれどうじょう}直心是道場」といわれるように、稽古は道場の中だけでなく、家の中でも職場でも、刀を手にはせずとも可能です。また逆に、稽古を通して身に着けた豊かな人間性は、道場の中にとどまらず、日常生活の場に生かされ、社会に還元されねばなりません。これこそ現代における武道修業の意義ではないでしょうか。

【居合道試合観戦のために】

居合道は一般的には初心の段階では、真剣を模して造られた切れない安全な模擬刀を用いて稽古しますが、四、五段程度以上のレベルになると、刃の立った切れる真剣を用います。模擬刀にせよ真剣にせよ、実際に相手と打ち合うことはできませんから、実戦で起こりうる様々な場面を想定して作られた形を、仮想敵を相手として稽古します。試合は紅白のコートに分かれ、指定された業を対戦するふたりが同時に抜きます。3名の審判が優劣を判断し、自旗が2本以上揚げた方が勝ちとなります。本大会は、制限時間（6分）内で、当日指定される5本の業前によって争われます。

居合道には自分が切られて負けるという想定はありません。必ず自分が勝つことになっています。定められた形を型どおり行っただけでは何の緊張感もなく、かたちばかりの踊りになってしまいます。真の武道たるには、実際に敵が眼前にいるかのごとく仮想敵と戦うことが大切で、それは生きた「目付」に現れます。

また居合はただ早く抜けばよいというものでもありません。居合道の目的は人を殺すことではなく、生かすことにあります。刀は人を切るだけの殺人刀であってはならず、破邪顕正の活人剣でなければなりません。観戦していて、思いのほか刀に手をかけてから抜き付けるまで、あるいは振りかぶってから切り下すまでゆっくりしているなど感じた人も多いのではないのでしょうか。まさに敵が切りかかろうとしても、最後の瞬間まで「抜くな、抜かすな」という気持ちで相対し、「^{ぬきつけ}抜付」の一刀の後、もし相手が参ったという態度を示せば、あえて切る必要はありません。それでも、どうしても歯向かうようであれば、止む無くとどめの一刀を加えて成仏させるという気持ちがそこに表現されています。

命がけのぎりぎりの場でも、冷静さを失わず、相手に対する思いやりを忘れないだけの度量と高い人間性が求められています。すべてが終わった後、刀に付いた血を振り落す「^{ちぶ}血振り」、続いて刀を鞘に納める「^{のうとう}納刀」が行われますが、この間、一瞬たりとも姿勢が崩れ、残心が乱れてはいけません。この動から静に移る一瞬の沈黙の^ま間は、能の舞台における「せぬひま」に対比され、居合道の精神性を最もよく示す瞬間でもあり、見どころの一つです。

剣道と居合道は本来ひとつであり、「剣居一体」といわれてきました。両者は本質的には何ら異なるところはありません。居合道は実際に打った、打たれたということがない分、勝負にこだわる必要がないので、それだけ、理想の剣理を追求しやすいといえます。(1) 美しい礼法・着装・姿勢 (2) 理に適った剣のさばき・足さばき・体の運用 (3) 正しい手の内や刃筋・鎧の使い方 (4) 残心・目付・呼吸法 (5) 品格、気位など多くの見どころがあります。

全日本居合道大会は、各都道府県より選抜された五段、六段、七段の各1名、計3名が1チームとなって、段別に分かれて覇を競います。観戦者の皆様はそれぞれの関心にしたがって、例えば、体さばきに、残心に、品格にといった具合に、見どころを絞ってご覧いただければ、一層興味も増すことでしょう。最後まで居合道の世界をご堪能いただければ幸いです。

全日本居合道都道府県対抗優勝試合要領

試合方法について

1. 各連盟の代表3選手を、各段毎、3試合場に分けて抽選し、トーナメント方式により試合を行い、各段毎に第一位、第二位を決める。

2. 勝者（不戦勝も含む）には、勝つごとに1点を与え、各連盟選手3名の得点（勝数）の合計数を以って団体成績を決定する。

但し、団体一位が同点の場合には、各々3選手の勝旗数により決定する。

勝旗数が同本数の場合は、代表者戦により決定する。（段位は、抽選による）

二位以下同点の場合も同じ。不戦勝には、勝旗3本を与える。

3. 演技の本数

（1） 試合時間は、技5本を6分以内とする。主審の「始め」の宣告から、正面の礼を終了し、携刀姿勢までとする。

（2） 前項の本数のうち先に古流2本を抜き、後に全剣連居合3本を抜くものとする。

（3） 全剣連居合の指定技については、大会当日、審判長より発表することとし、準決勝以上については、指定技を変えることもある。

（4） 古流2本については、自由。（各回戦毎に変える必要はない）

4. 試合者の進退

（1） 試合者は、プログラム順により当該試合場において待機し、所定の場所にて相互の礼をしたのち、呼び出しに応じて遅滞なく入場する。「入場」の合図で開始線の位置につく。主審の「始め」の宣告で試合を行う。

（2） 正面への礼および刀礼は、演武の中に含まれるものとする。

（刀礼は全剣連居合による）

（3） 試合者は、演武を終えたのち（刀礼および正面への礼ののち）正面を向いて携刀姿勢で判定の宣告を待つ。

（4） 判定の宣告後、試合場から退場し、所定の場所にて相互の礼を行う。

（5） 試合者の服装は、剣道着または居合道着・袴を着用すること。

（6） 各自、剣道着または居合道着の左胸部に名札をつけること。（要項参照）

（7） 試合には大刀（真剣）を用いること。登録証は必ず携行すること。

（8） 試合者は下げ緒を着用しないこととする。

※当日各試合場において各段の代表選手は自身の1回戦までに刀剣検査を受けること。

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)
令和8年9月9日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL03(3211)5804	FAX(3211)5807
会長 真砂 威	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL03(3234)6271	FAX(3234)6007

地方代表団体	会 長	〒	事 務 局 所 在 地	電 話	F A X
(一財)北海道剣道連盟	岡 嶋 恒	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662	011(820)1663
青森県 〃	三 上 順 一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県 〃	小 松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県 〃	安 部 美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県 〃	小笠原 宏 志	020-0133	盛岡市青山4-13-30 (公財)岩手県スポーツ協会会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県 〃	井 上 雅 勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県 〃	武 藤 士津夫	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県 〃	水 田 重 則	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県 〃	白 石 正 範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県 〃	小 林 一 隆	371-0047	前橋市関根町3-4-8 ハイツホウレン107号	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県 〃	栗 原 憲 一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都 〃	千 葉 胤 道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県 〃	岩 井 啓 能	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
(一社)神奈川県 〃	野見山 延	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県 〃	山 本 洋 一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県 〃	荻 莊 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県 〃	近 藤 繁 彦	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県 〃	牧 本 雄 一	939-8076	富山市太郎丸2-77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県 〃	片 山 外 一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県 〃	二 木 むつみ	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県 〃	二 橋 高 弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県 〃	大 嶽 將 文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県 〃	堤 俊 彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県 〃	中 森 博 文	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県 〃	中 野 正 堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府 〃	伊 吹 文 明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19-10	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府 〃	長 榮 周 作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県 〃	吉 田 克 法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県 〃	世 耕 弘 成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県 〃	池 田 公 律	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県 〃	宮 川 健	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県 〃	田 中 秀 和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県 〃	堤 慶 一	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一財)鳥取県 〃	佐 伯 友 茂	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県 〃	高 木 弘 伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	0852(27)6222
(一財)香川県 〃	三 原 悦 男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県 〃	俊 野 徹 人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県 〃	渡 邊 三 則	781-5102	高知市大津甲2009-34	090-1009-6857	
徳島県 〃	西 谷 肇 一	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県 〃	青 柳 俊 彦	812-0045	福岡市博多区東公園8番3号 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
(一社)佐賀県 〃	川 上 春 生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県 〃	灰 谷 達 明	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県 〃	三 浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一財)熊本県 〃	山 下 照 喜	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県 〃	橋 口 光 博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
(一社)鹿児島県 〃	小 松 信 明	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県 〃	大 城 朝 徳	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和8年10月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥500	55	3
杖道試合・審判規則	¥500	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q & A(第3版)	¥2,100	785	15
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道講習会資料	¥500	310	8

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
設立七十周年記念出版「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980	28
剣道人バッジ(ネジ・タック)	各¥1,800	13	16
FIKバッジ(ネジ)	¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,500	58	16
女子審判用ネクタイ	¥2,000	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,500	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,500	55	3
竹刀検査用基準器 検査台	¥12,000	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥20,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄)	各¥800	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししラバーキーホルダー	¥800	19	5
ぶししTシャツ「SUBURI」ネイビー(S・M・L・XL)	各¥2,500	226	20
ぶししTシャツ「子供用」ネイビー(90・110・130)	各¥1,300	114	10
ぶししTシャツ「子供用」白(90・110・130)	各¥1,300	114	10
ぶししぬいぐるみ	¥5,000	256	210
ぶししミニだるま(赤・緑・青・紫)	各¥1,500	35	6

* 品物はすべて消費税込みとなります。

* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1) インターネットからのお申し込み……<https://zenkenren-shop.com>

(2) F A Xでのお申し込み……心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へF A Xして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧F A X番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のF A Xを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅 配 便…送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便…(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、680円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 4,400円〉

(令和7年12月1日より)

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

祝

第 61 回全日本居合道大会
選手の皆様のご健闘を
お祈りいたします。



一般財団法人東京都剣道連盟

道優紀次夫宏	胤清知高年	葉木川井林村	千久西玉宮木	長長長長事長	会副副副專事
		保		会会会務局	

祝

第61回

全日本居合道大会

選手皆様のご健闘を
お祈り申し上げます

一般財団法人 東京都剣道連盟居合道部会

会 長	畠 中 篤 美
副 会 長	伊 藤 繁 男
副 会 長	市 川 学
専務理事	池 田 敏 克
事務局長	柳 徹
ほか	部会員一同

(居合道部会事務局) ※令和8年9月より下記に移転いたしました
〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-14プチモンドお茶の水403号室
TEL03-5812-9633
FAX03-5812-9634
mail:info@iai-do.jp
ホームページ <http://tokyo-iaidobukai.jp>

祝

第61回全日本居合道大会

新宿支部

無双直伝英信流 篤志会

会長・師範

範士八段 畠中 篤美

師範代

教士七段 畠中 恵

教士七段 小野 桃子

稽古日時

・ 月、水曜日 18:00～21:00 四谷ひろば

・ 土、日曜日 13:00～15:00 四谷ひろば

事務局連絡先

- | | |
|-------------|---|
| ・ 担当者 | 小野 桃子 |
| ・ 電話番号 | 090-9839-8661 |
| ・ 事務局E-Mail | tokushikai.iai@gmail.com |
| ・ URL | http://atsumidojo.net |

祝 第61回 全日本居合道大会

八王子市居合道連盟

会		長	伊	藤	繁	男	無	外	流
副	会	長	塚	本	溢	己	夢	想	伝
副	会	長	池	田	哲	郎	無	外	流
副	会	長	望	月	族	治	無	外	流
理	事	長	一	宮	竜	太	無	外	流
事	務	局	8iren1seikan@gmail.com (安藤晃子)						
稽	古	場	一誠館道場 (八王子市剣道連盟道場)						
稽	古	日	毎週 水・土曜日 午後6時30分～8時30分						
ホ	ー	ム	ホームページ https://hachioji-iaido.jimdofree.com						

祝 第61回 全日本居合道大会

無外流士龍会

会		長	伊	藤	繁	男
副	会	長	島			廣
副	会	長	望	月	芳	治
副	会	長	池	田	族	郎
理	会	長	一	宮	哲	太
連	事	長			竜	
	絡	先	090-2489-1762 (一宮)			
支	部		八王子・甲府・青梅・羽村・北区			
			相模原・国分寺・日の出			
ホームページ			www.mugairyu-shiryukai.jp			

祝 第 61 回全日本居合道大会

大会のご盛会と皆様のご健闘をお祈り致します

TOKYO IAIDO KIYOSE

**夢想神伝流居合 金田一門会
東京都剣道連盟居合道部会清瀬支部
師範:金田 和久 Kazuhisa Kaneda**

祝 第61回 全日本居合道大会
板橋区剣道連盟 居合道部会

会 長 桑田 孝博 教士八段

事務局 浅井 正章 教士七段

〒173-0037

東京都板橋区小茂根3-4-15 薫風館道場

TEL 090-7001-7285 (浅井)

祝 第61回 全日本居合道大会
薫 風 館 道 場

東京都板橋区小茂根3-4-15

稽古日

水曜日 18:30～21:00

土曜日 13:00～16:30

日曜日 9:00～12:00

上記時間の他、適宜個人指導実施

館長 桑田 孝博 教士八段

TEL 090-9802-7637

祝

第61回 全日本居合道大会

研 修 館

会長 檀崎 三意子

居 合 道（夢想神伝流）

杖 道（神道夢想流）

稽古場所

文京区 江戸川橋体育館
文京総合体育館 他

連絡先

連絡担当 早坂明哲 電子メール・Webサイト

電子メール: kenshukan.iai@gmail.com

Webサイト: <http://https://kenshukan.iaigiri.com/>

祝

第61回 全日本居合道大会 三菱武道会居合道部

師	範	小	倉	昇
部	長	岸	隆	康
幹	事	長	竹	内 睦
幹	事	姫	野	優 子
幹	事	西	條	敦 勇
幹	事	古	殿	浩 一

住所：〒170-0002 豊島区巢鴨 2-8-1
TEL：03-3915-2793

三菱養和会 思齊館

祝 第61回 全日本居合道大会

東京都剣道連盟居合道部会 台東支部

理 事 平 舘 勝 紘

支部長 山 縣 繁 晴

浅草三風会 (田宮流)

火曜稽古 忍岡中学講堂 18時半～ 鶯谷上野寄り駅前
会長 吉池映治七段
連絡先 asakusa-sanpukai-1208@docomo.ne.jp

台 東 居 合 道 会

月曜稽古 上野中学校 鶯谷駅徒歩7分 18時半～21時
木曜稽古 忍岡中学講堂 鶯谷駅上野寄り口前 18時半～20時半
金曜稽古 寿こども園 (不定期) 湯島・御徒町より錦糸町行きバス寿3丁目下車 19時～
師範 平舘七段 会長＝山縣繁晴 副会長＝川田光博・屋代正三・林 将幸
メール taito.iaido@gmail.com ホームページ <https://taitoiaido.wixsite.com/kenkyukai>

居 合 道 雄 山 会

土曜稽古 我孫子市 根戸近隣センター 13時～17時
(火・木曜 夜自由稽古) 北柏下車右へ 徒歩10分
会長＝斎数真人七段 副会長＝葛西正昭七段 会計＝佐々木力
ホームページ <http://kashiwayuzankai.web.fc2.com>

刀 水 会 居 合 道 部

日曜稽古 原則午前中 山内地区センター (あざみ野駅徒歩3分) ほか横浜市内
自由稽古 木曜夜間 日吉台中学校 (日吉本町駅徒歩6分) ほか
会長＝山田 耕七段 副会長＝杵中 摂六段 事務局＝外村 匡
ホームページ <http://tosuikai.web.fc2.com/> メールアドレス tosuikai.iaido@gmail.com

祝 第61回全日本居合道大会

夢想神伝流 晃心会

東京都剣道連盟居合道部会 立川支部

会 長 教士八段 市川 学

事務局 堀内玲子 連絡先 t.koushinkai@gmail.com

夢想神伝流 薔清進館居合道会

東京都剣道連盟居合道部会立川支部

会長 教士七段 トレント裕梨

師範 教士八段 市川 学

稽古日時

毎週水曜日 立川市第九小学校体育館 18:00-21:00

毎週日曜日 立川市大山小学校体育館 13:30-16:30

連絡先： 古川 茂一 042-537-2822

東京都剣道連盟居合道部会 中野支部

会長 教士八段 伊藤知治

事務局 酒井 幹夫 090-1699-1158

道場名	連絡先	
中野道場	森田 有花里	morita@nakanoiai.org
中野居合道部会	池田 摩梨子	ike_m_y@yahoo.co.jp
中野区居合道教室	橋爪 天	03-3389-0102
堅忍会稽古所	柳田 榮一	047-387-5661
蓉武会	鈴木 容子	090-6123-8970
春風館道場	東條 展	090-4951-7877

祝 第61回 全日本居合道大会

選手皆様の御健闘を
お祈りいたします

府中市 居合道連盟

【事務局】 渡邊 聡 メールアドレス: fuchu.iaido@gmail.com

【主な稽古場】 府中市総合体育館 第2武道場

【ホームページ】 <http://www.iai-fuchu.tokyo/>

(QRコードからアクセス出来ます)



足立区居合道連盟

会 長 有 若 茂 東京伯耆流神武館
伯耆流星野派 090-3217-1104
伝 片山流

理事長 山口 敏 剣 正 会
夢想神伝流 080-9067-3605

理 事 石 塔 実 日本古武道居合研究会・蘆洲会
無雙直傳英信流 080-5048-4292
HP <https://adachiroshukai.wordpress.com/>

事務局長 西野 稔 連絡先 090-8694-5029
FAX 048-929-2134

祝 第 61 回 全日本居合道大会

墨田区剣道連盟居合道部会

会長 松山 彰孝

事務局長 柴田 誠

連絡先（柴田）090-4755-4417 メール yuwabudojo@gmail.com

多摩市居合道連盟

電話 042-374-6302 (太田)

メールアドレス iai-tama@tama-iai.com

ホームページアドレス <http://www.tama-iai.com/>



見学・体験
大歓迎

初心者の方も
お気軽にご参加ください

稽古のご案内

部会	稽古日	稽古場所
多摩剣友会居合道部	毎週 月曜日 19:30 ~ 21:30	多摩市立多摩第一小学校体育館
定例合同稽古	毎週 火曜日 18:30 ~ 21:15	多摩市立武道館
木曜会	毎週 木曜日 12:30 ~ 15:15	多摩市立武道館
豊ヶ丘剣友会居合道部	毎週 土曜日 17:30 ~ 19:30	多摩市立落合中学校クラブハウス
ひかり剣志会居合道部	毎週 日曜日 13:00 ~ 16:00	多摩市立瓜生小学校多目的ホール

多摩西青梅居合道連盟

(多摩西地区青梅支部)

会長(支部長) 橋本 政美

副会長 佐久間 健 (青梅市居合道会)

石坂 勲 (あきる野市居合道会)

越湖 正道 (羽村居合道会)

事務局 大野 吉紀

電話 042-555-0503

江戸川区剣道連盟

居合道部会

会 長 教士七段 小泉 尚

合同稽古日時場所 毎月第二、第四土曜日 18:30～21:00

江戸川区総合体育館剣道場

事務局 彦田きよ子 090-2765-0800

Fax03-3680-6739

夢想神伝流 尚理会

会 長 教士七段 小泉 尚

稽古場所日時 江戸川区松江第四中学校剣道場

毎週日曜 15:00～18:00 木曜日 19:00～21:00

事務局 彦田きよ子 090-2765-0800

祝 第 61 回全日本居合道大会

一般財団法人目黒区剣道連盟

- 居合道稽古場所 目黒区立中央体育館第 2 格技室
東京都目黒区目黒本町 5 丁目 22-8
電話 03-3714-9591
- 交 通 JR 山手線目黒駅乗換 東急目黒線「武蔵小山駅」西口 徒歩約 7 分
- 稽 古 時 間 日曜日・祝日 午後 2 時 30 分～6 時 00 分
※ 年末、年始、剣道大会等の行事がある場合は、休止します。
- 連 絡 先 田村岳洋 TEL 090-7876-5575
URL <http://www.mekenren.or.jp/>
メール takehiro.nomad@gmail.com

祝 第 61 回 全日本居合道大会

博 心 館 道 場

代表 丹羽 寛

090-3803-6700

稽古場所 日曜日：東急世田谷線「若林」駅

木曜日 or 金曜日：東急田園都市線「駒沢大学」駅

事務局 ：馬淵 高典 090-2236-4155

祝 第61回 全日本居合道大会

夢想神伝流

誠 心 会

会 長 教士七段 関根 康幸

稽古日 水曜、土曜 13:00～16:00

稽古場所 東京都板橋区仲町36-6 (斯道館)
TEL 090-8515-1159(関根)

夢想神伝流 直心道場

会 長 師範 教士七段 吉田由美(荻窪・八王子教室)

副会長 師範 教士七段 成田竜一郎(横浜教室)

顧 問 師範 教士七段 古屋行彦(新宿 S.C.)

事務局 吉田由美

電話/Fax (042)(582)9249

携帯 090-1465-1346

夢想神伝流 清心会

師 範

金 田 和 久

居合道部会練馬支部長

高 橋 昌 樹

稽古日時／毎週火曜日・金曜日 19:15～20:30

稽古場所／大泉第二中学校 第二武道場

稽古日時／毎週日曜日 18:30～20:30

稽古場所／練馬区立南町小学校 体育館2階

事務局／TEL 090-1848-5857

E-Mail lyntonroad.113@ezweb.ne.jp (吉田)

ホームページ／ <http://www.seisinkai.info>

着物・袴の仕立て

東京式、
男は立て

泉村屋柊和裁所

居合道に最適！

江戸時代から続く伝統技法が
あなたの演武を一層際立たせます



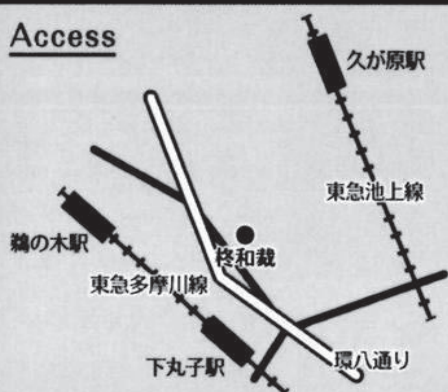
一針不乱！

伝統技法『東京式 男仕立て』

布地の表地と裏地は一枚の布だったかのように合わさり、美しく真っ直ぐな直線と鋭く角ばった角が特徴。



Access



東急多摩川線「鶴の木駅」より徒歩5分
「下丸子駅」より徒歩5分
東急池上線「久が原駅」より徒歩10分

お問い合わせ

泉村屋柊和裁所

146-0084

店主 柊 光弘

東京都大田区南久が原2-30-35

03-3756-3380

<http://h-hakamaya.net>



Japanese Swords and Supplies

濃州地方は鎌倉時代末期から刀の町として栄え
日本刀制作に深い歴史がある町です。
当店では居合道に使用する刀に、この伝統の技法を活用し、
品質の高い製品作りに務めております。
居合刀の選び方、刀の手入れ方法、修理、点検、
刀の正しい知識等についてお気軽にご相談下さい。

濃州堂

Nosyudo

居合道専門店

剣道形用(大刀・小刀)製作・刀身取り替え・修理・点検、承ります!



〒501-3252
岐阜県関市山王通 1-11-14
TEL 0575-22-2397
FAX 0575-22-2383
営業日、平日8時半～5時半 定休日、日曜・祭日
<https://www.nosyudo.jp/>

総合カタログ1部 500円
ご請求下さい (切手可)

日本美術刀剣
各種居合刀
専門店

美濃熊刀剣

〒
500
—
8457

岐阜市加納青藤町三一一九

☎ (〇五八)二七二—二七〇〇

FAX (〇五八)二七三—六二四七

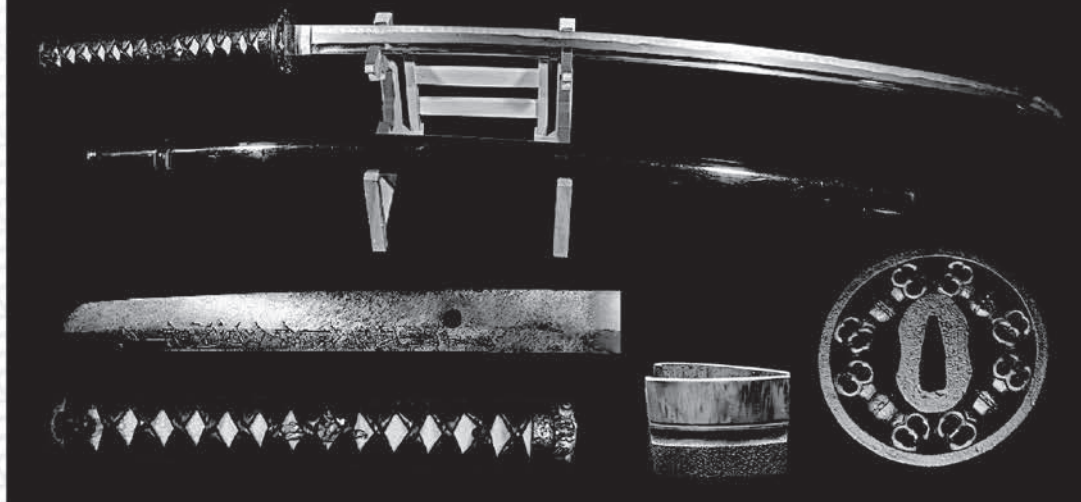


Martial Arts Swords and Art Swords / TOUKEN HASEGAWA

武道用・美術用
刀剣専門店

刀剣 はせ川

【刃音特良居合刀】濃州武藝八幡住人兼圀作之 昭和五十八年十二月吉日
2尺4寸5分 74.3cm 拔身883g・樋あり 58万3千円(税込) YKI-56



【居合用真剣・刃音良】
雲州住貞照作
2尺3寸9分 72.2cm
拔身960g・樋あり
44万円(税込) YKI-43



【居合用真剣・刃音良】
肥州八代住兼照鍛之(赤松太郎)
2尺4寸2分 73.4cm
拔身935g・樋あり
77万円(税込) YK-51



Shop

ご注文・お問合せ

携帯 090-8851-1598 TEL/FAX 042-850-8424

オンラインショップ touken-hasegawa.jp

Email : onihei888@gmail.com



Instagram

次回出店 2026年 10/10(土)・11(日) 第48回 大阪刀剣まつり・堺市産業振興センター



現代刀・時代刀・試斬特別仕様・美術刀・拵え、続々入荷中
刀の買取りやメンテナンスもお任せください

刀剣はせ川 代表・長谷川 康治 [東京都公安委員会 第308841906584号]

〒194-0022 東京都町田市森野 1-7-12 エリーズハウス 201号

※スタッフ在中日時が不定期のため、お越しの際は事前にご連絡をお願いいたします。





公益財団法人
全日本剣道連盟
All Japan Kendo Federation

剣道 やろうよ!

Ready, Set, Kendo!

れいぎ
礼儀をまなび、
わざ
技をみがき、
強い心をはぐくむ。

剣道は、剣の心を学び、
人としての成長を目指す「人間形成の道」です。

子どもも大人も、
始めるなら今がそのとき。

#剣道未来プロジェクトで
あなたの日々の中にある「剣道の魅力」を届けてください!

ぜひ
ご参加を!



全日本剣道連盟
剣道普及キャラクター
「ぶしし」

Instagramで #剣道やろうよ #剣道未来プロジェクト をつけて投稿してください!
寄せられた投稿の一部は、全日本剣道連盟公式SNSでご紹介します。

詳しくはこちら
剣道未来プロジェクト
特設サイト



第20回 世界剣道選手権大会

期日: 2027年5/27(木)~5/30(日)
開催地: 東京

剣道って？

剣道は、「竹刀」をつかう武道だけど、それだけじゃないよ！

①

こころとカラダを
そだてるもの

剣道の稽古では、
「つよい気持ち」と「正しい姿勢」を
身につけられるよ。



②

礼を
たいせつにする

相手をたいせつにし、
しっかりあいさつすることで、
「思いやりのこころ」も育つんだ。



全日本剣道連盟 剣道普及キャラクター
「ぶしし」

③

生涯ずっと
つづけられる

子どもから大人まで、
一生たのしめる。
こころもずっと元気！



剣道を始めてみよう！

どこでも
見学・体験
できるよ！

近くの【道場・剣友会・クラブ】に
行って、まずは見学から。

はじめてでも
大丈夫！

竹刀の持ち方、基本姿勢から
しっかり教えてもらえるよ。

家族で
参加もOK！

子どもと大人、一緒に
剣道に挑戦しよう！

さあ、あなたも一歩を踏み出そう！
道場・剣友会・クラブはいつでも大歓迎！

無料体験もあるので、まずは見学からOK！

地域道場・剣友会・クラブ

見学・体験
受付中！

「剣道未来プロジェクト」とは

剣道を「知る」「見る」「体験する」ことを通じて、
子どもや若者たちにその魅力を感じてもらい、未来につながる剣道文化の継承を目指しています。
今後、さまざまな広報活動やイベントを通じて積極的に取り組んでいきますので、ご期待ください。

剣道 世界大会 応援クラブ

—— 国内外への剣道普及を目指して ——

会 員 募 集



剣道普及キャラクター
「ふしし」

剣道界最大のイベントである国際剣道連盟主催の「世界剣道選手権大会（WKC）。令和9年（2027）に日本で開催される「第20回世界剣道選手権大会（20WKC）」を契機に、全日本剣道連盟（全剣連）のWKCに関する活動を支援し、国内外への剣道振興に繋げる「剣道世界大会応援クラブ」を創設します。剣道愛好者のみなさまから賜りましたご支援を原資として、全剣連のWKC活動及び積極的な国内外での普及活動に活用させていただく制度です。みなさまのご賛同よろしくお願いいたします。

- 年会費 団体会員……………1口 30,000円／年（上限1団体10口まで）
個人会員（18歳以上）……1口 5,000円／年（口数に上限なし）
- 入会方法 剣道世界大会応援クラブ特設サイト <https://ouenclub.com> よりお申し込みください。
クレジットカード決済もしくは口座自動引落いずれかでの手続きとなります。
- 会員資格 団体、個人とも入金日より1年間とします。（※次年度より自動継続）
有効期限 全剣連HPに会員名簿を掲載。（※希望者のみ）
- 特典 次の特典を用意しております。※メールアドレスの登録が必須となります。（資格を得た時点から遡っての特典を受けることはできません。）①記念品（キーホルダー・ステッカー等）、②全剣連機関誌『剣窓』送付（団体会員電子版＋冊子版3部、個人会員電子版）、③全剣連剣道カレンダー送付、④全剣連主催の一部の講習会参加費および頒布品割引、⑤大会入場料関連（全日本剣道選手権大会の前売り先行申込の権利及び自由席招待券、第20回世界剣道選手権大会の入場券先行申込）、⑥全剣連所蔵の映像視聴サービス、⑦〔団体会員限定〕所属の道場・剣友会等の紹介動画を全剣連HPに掲載（※応募フォームの要項に従って撮影の上、ご応募ください）等を予定。

現在『剣窓』の購読者も「剣道世界大会応援クラブ」に申し込めます!!

現在『剣窓』を購読されている方が申し込まれる場合は「愛読者特典」として、申込時点での残りの購読期限分を「会員資格有効期限」の1年間にプラスして延長させていただきます。次回の購読料は、会員申込手続きで選択された「クレジットカード」もしくは「口座自動引落」のいずれかで、プラスされた延長期限終了後に申込口数分の年会費のご入金をお願いいたします。『剣窓』は引き続き冊子版1部と電子版をお楽しみいただけます。

●問合せ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
公益財団法人全日本剣道連盟 総務部マーケティング室
TEL: 03-3234-6271 FAX: 03-3234-6007

▶こちらのQRコード
からも申し込みます。



第20回 世界剣道選手権大会

第20回世界剣道選手権大会

2027年5月27日(木) - 5月30日(日)

The 20th World Kendo Championships
Thursday, May 27 - Sunday to May 30

<https://20wkc.jp/>

20th WKC

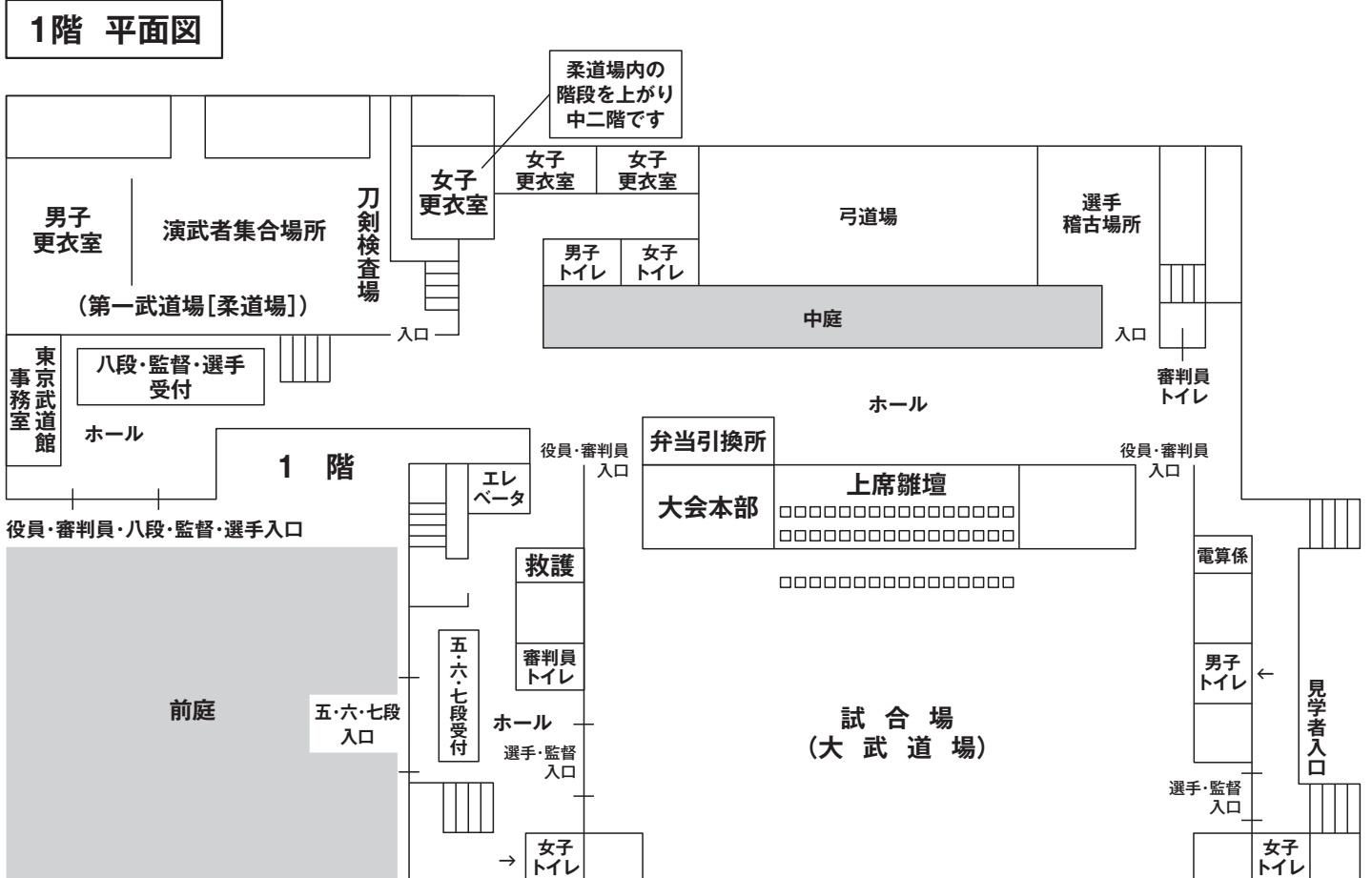
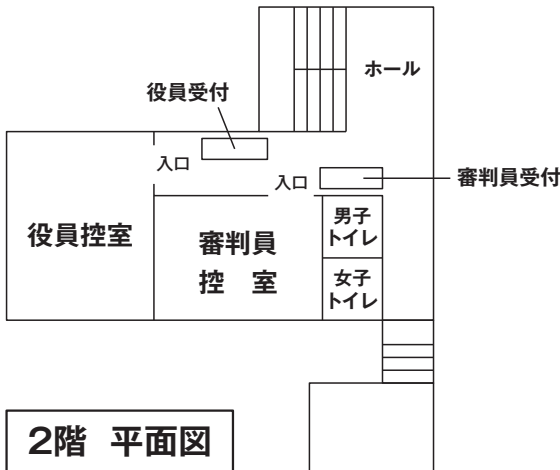
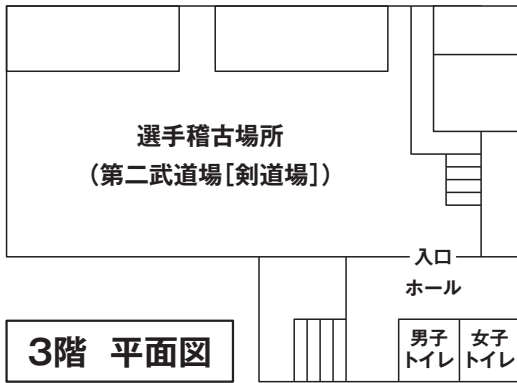
The 20th
World Kendo
Championships
Tokyo 2027



おじいちゃん



東京武道館館内見取り図



綾瀬駅より

私たちは《剣道》を応援しています

メルコグループ

